図書館利用講座

2010

内　　容

序　章　論文・レポートを作成するにあたって

第１章　図書・雑誌を探す
　１　　長久手・守山キャンパス図書館を利用する
　２　　国内の大学図書館等を調べる
　３　　公共図書館を調べる
　４　　海外の図書館を調べる

第２章　論文を探す
　１　　総合的に国内論文を探す
　２　　総合的に海外論文を探す
　３　　主題別に論文を探す

第３章　他機関の資料を利用する
　１　　資料を入手する方法
　２　　ＩＬＬ（InterLibrary Loan）サービス

第４章　いろいろな資料を探す
　１　　国書（江戸時代以前の日本の本）を探す
　２　　史料を探す
　３　　漢籍を探す
　４　　新聞記事を探す
　５　　辞書・事典を探す
　６　　行政情報を探す

参考資料

平成22年10月

愛知県立大学学術情報センター 長久手キャンパス図書館

目　　次

序章　　論文・レポートを作成するにあたって……　1
１　論文・レポート作成の 10 のステップ……　2
２　事前調査……　3
３　「イモヅル式」と「二次資料検索法」……　3
４　文献探索のポイント……　4
５　論文とは……　4

第１章　図書・雑誌を探す……　5
１　長久手・守山キャンパス図書館を利用する……　6
１．１　OPAC……　6
１．２　データベース・電子ジャーナル……　9
２　国内の大学図書館等を調べる……　10
２．１　Webcat Plus……　10
３　公共図書館を調べる……　11
４　海外の図書館を調べる……　13

第２章　論文を探す……　15
１　総合的に国内論文を探す……　16
２　総合的に海外論文を探す……　18
３　主題別に論文を探す……　20
３．１　国語国文・歴史文化の論文を探すデータベース……　20
３．２　中国関係の論文を探すデータベース……　21
３．３　教育・福祉・看護学関係の論文を探すデータベース……　22
３．４　外国語学・欧米関係の論文を探すデータベース……　25
３．５　情報科学関係の論文を探すデータベース……　29

第３章　他機関の資料を利用する……　31
１　資料を入手する方法……　32
２　ＩＬＬサービス……　32
２．１　国内の所蔵館から資料・論文を入手する……　32
２．２　海外の所蔵館から資料・論文を入手する……　34

第４章　いろいろな資料を探す……　37
１　国書（江戸時代以前の日本の本）を探す……　38
１．１　『国書総目録』……　38
１．２　日本古典籍総合目録（国文学研究資料館）……　40
２　史料を探す……　41
３　漢籍を探す……　44
４　新聞記事を探す……　45
５　辞書・事典を探す……　48
５．１　JapanKnowledge（ジャパンナレッジ）＋ NR……　48
６　行政情報を探す……　49
６．１　統計……　49
６．２　白書……　52
６．３　法令……　53
６．４　各国の情報・国際協力……　56

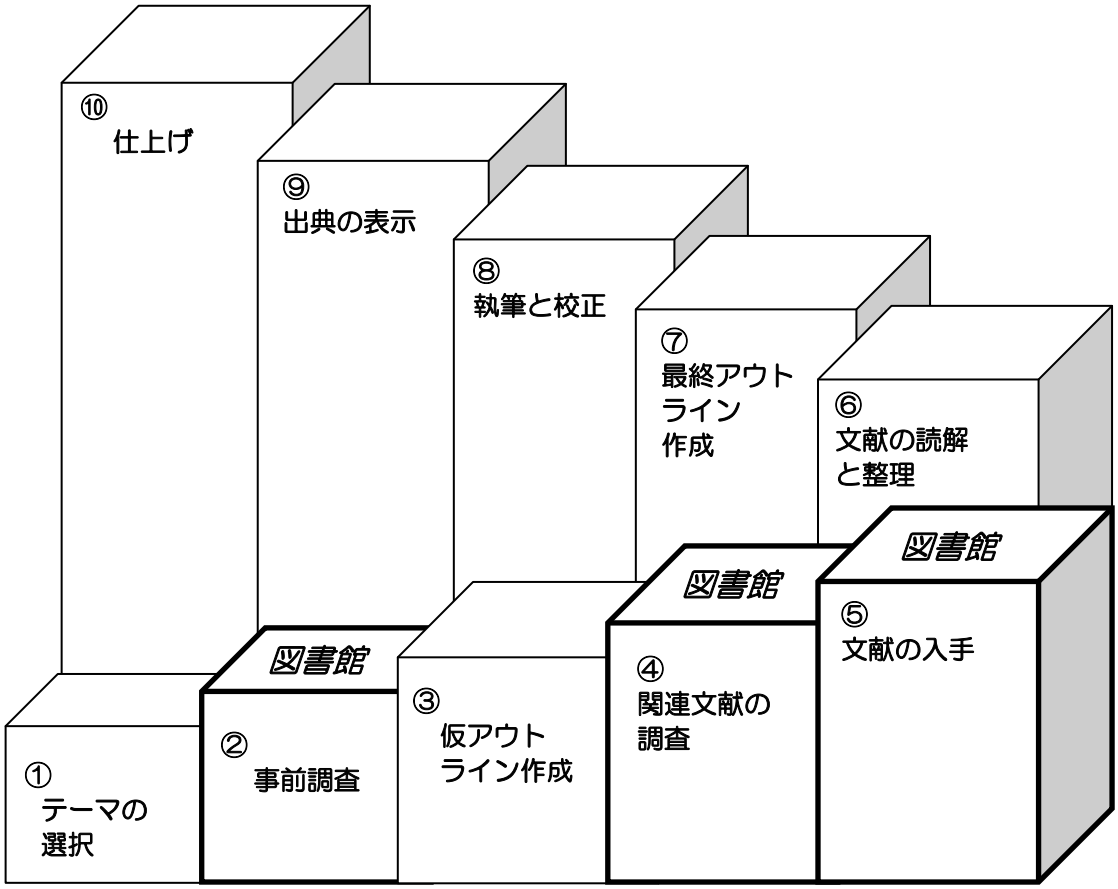
参考資料 …… 57
1　引用、文献リストについて …… 58
2　「論文の書き方」、「文献調査」の本 …… 60
3　情報科学関係論文で引用されることの多い雑誌・技術報告の略称 …… 63
4　日本十進分類法 …… 64

序章　論文・レポートを作成するにあたって

論文・レポート作成に必要な１０のステップや、代表的な検索法などについて説明します。

1　論文・レポート作成の１０のステップ

・論文・レポート作成にあたっては、必要なステップを順に、確実に行うことが大切です。主に図書館がお手伝いできる部分は、「②事前調査」、「④関連文献の調査」および「⑤文献の入手」です。



①テーマの選択――書きたいテーマを絞り、訴えたい主張をはっきりさせる。

②事前調査――執筆に入る前に、自分のテーマの全体像とテーマに関係する概念を予め把握しておく。

③仮アウトライン作成――最終的に自分の主張を述べるために必要な内容の骨子を箇条書きにする。

④関連文献の調査――仮アウトラインに沿って、必要な情報が載っている文献を探してリストを作る。
⑤文献の入手――関連文献リストの各文献を所蔵している図書館などを確認し、入手する。

⑥文献の読解と整理――入手した文献を読み解き、自分で評価し、ノートを作り、分類・整理しておく。
⑦最終アウトライン作成――読解、整理した文献の内容をもとにして、仮アウトラインを見直し、修正、追加、削除を行なって最終アウトラインを作る。
⑧執筆と校正――最終アウトラインに沿って材料を文章に書き下ろす。
⑨出典の表示――引用には出典を示す注をつける。
⑩仕上げ――指定どおりの形に整えて、仕上げる。

日本図書館協会編『情報の達人　第３巻　レポート・論文を書こう!』
紀伊國屋書店　２００７（ＤＶＤ）　より

２　事前調査

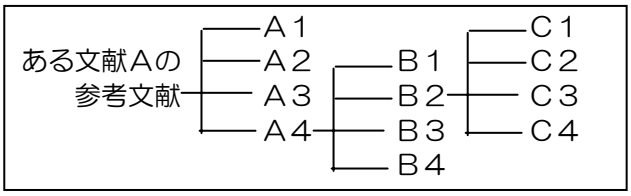
・レポートや論文の執筆に入る前に、自分のテーマの全体像とテーマに関係する概念を予め調査し把握しておく必要があります。具体的には次のような調査が考えられます。
　①テーマに関連する入門書、百科事典、専門事典などで関連語の項を読む。
　②上述の事典等に出てくる基本用語、人物名、事件名などをメモしておき、さらに調べてノートを取る。
　③テーマに関連する分野の専門用語も調べる。
　④テーマに関連したウェブ上の信頼できるサイトから、最近のトピックや必須情報を入手する。
・多くの事典・辞典を搭載したオンラインデータベース「JapanKnowledge（ジャパンナレッジ）」(p. 48参照)は、事前調査に役立つツールのひとつです。ぜひご活用ください。

３「イモヅル式検索法」と「二次資料検索法」

・文献検索には、大きく分けて二つの方法があります。「イモヅル式検索法」と「二次資料検索法」です。この二つの方法を組み合わせることにより、より網羅的な検索ができます。

「イモヅル式検索法」とは

信頼できる一つの文献（図書や論文）を起点にし、その巻末などに記載されている「引用・参考文献」の中から必要と思われるものをたどっていく方法。



［参考文献例］

① 井上史雄(1998)『日本語ウォッチング』、岩波書店。
② 岩崎育夫(1991)「リー・クワンユー政権の31年」、『アジアトレンド』1991、53巻：99-122。
Jasbir Sarjit Singh(1980) "Higher Education and Social Mobility : Tie Role of the University of Malaya", *Southeast Asian Journal of Social Science*, Vol. 8, No. 1.

大原始子『シンガポールの言葉と社会』三元社　2002

①図書の例
著者（出版年）『書名』、出版者
②雑誌論文の例
著者（発表年）「論文名」、『掲載雑誌名』掲載年、掲載巻号：掲載ページ

「二次資料検索法」とは

文献目録、記事索引など「二次資料」を使って資料を集める方法。「二次資料」には本の形態をした冊子体のものと、ＣＤ－ＲＯＭやインターネット上に公開されたデータベースのものとがある。

［二次資料例］

5957　植月 徹　ジョン・キャップグレイブの『年代記略記』訳注—3—：岡山商大論叢　35(3)〔2000.1〕p233～273

Capote, Truman　(1924—1984)〈米〉
〔図　書〕
5958　クラーク，ジェラルド　中野 圭二訳　カポーティ　文芸春秋　1999.4　694p
5959　浜野 成生　老いの論理学—トルーマン・カポーティ「ミリアム」　〈アメリカ短編小説を読み直す—女性・家族・エスニシティ　日本マラマッド協会編　北星堂書店　1996.4〉　p241～253
5960　プリンプトン，ジョージ　野中 邦子訳　トルーマン・カポーティ　新潮社　1999.12　556p
〔雑　誌〕
5961　秋山 知己　閉ざされた空間の住人—トルーマン・カポーティの"Miriam"と"A Lamp in a Window"：PERSICA(岡山英文学会)　23〔1996.3〕　p83～89
5962　有賀 明子　カポーティ文学の定点,『クリスマスの思い出』：RANDOM(東京外大院)　20〔1995.9〕p15～30

安藤勝編　『英米文学研究文献要覧』日外アソシエーツ　2001

４　文献探索のポイント

４．１　正確な書誌情報を早い段階で確保する

・図書の書誌情報
　→書名、著編訳者名、出版者、出版年月、シリーズ名、ISBN、NACSIS-ID など
・雑誌の書誌情報
　→雑誌名、巻号・通号、年月、ISSN、NACSIS-ID など
・論文の書誌情報
　→論文名、著者名、掲載雑誌名、巻号・通号、年月、掲載ページ、ISSN、NACSIS-ID など

４．２　二次資料（目録、データベース）の使い方を確かめる

・冊子体、データベースのいずれも、ツールによってそれぞれ使い方が異なります。
・使用する際には凡例やヘルプなどをよく読んで、収録範囲、記号・表記のルール、検索値の入力方法などを確認してください。

４．３　インターネットからの情報だけに頼らずに

・インターネットですべてのことが調べられるわけではありません。
・インターネット上で見つからないからといって、存在しないとはかぎりません。
・また、意外に最近の情報しか入手できないこともあります。
・こうしたインターネットの限界を念頭におき、必要に応じて冊子体のツールを併用するなど、多角的な探索を心掛けましょう。
・本学で利用できるオンラインデータベース「JapanKnowledge」には、検索結果から、該当テーマに関連した Web 上の信頼できるサイトへのリンクがあります。

５　論文とは

・多くの研究成果は、学術雑誌や、大学等が発行する紀要に個々の「論文」として発表されます。雑誌論文からは、図書として出版されるよりも早い情報を得ることができます。また、特定テーマについてのより専門的な情報を持つものが多いのも特徴です。

・このような点から、論文の収集は、論文・レポートの作成には欠かせないものです。

・雑誌論文を入手するには、まず、その雑誌論文が掲載された雑誌名、巻号、年月、掲載ページ、ISBN、NACSIS-ID などを知る必要があります。
・雑誌ではなく、論文集などの図書に掲載される論文もあります。その場合は、掲載された図書名、出版者、出版年月、掲載ページ、ISSN、NACSIS-ID などを知る必要があります。

第１章　図書・雑誌を探す

図書や雑誌の探し方を中心に、長久手キャンパス図書館の基本的な使い方について説明します。

１　長久手・守山キャンパス図書館を利用する

１．１　ＯＰＡＣ

・探している資料が明らかな場合は、まず、長久手・守山キャンパス図書館にあるかどうかを調べます。長久手・守山キャンパス図書館で所蔵する資料（図書、雑誌、AV 資料）のほとんどは、OPAC で検索できます。ただし、貴重書は OPAC では検索できません。カウンターにある冊子体目録「特別書庫目録」で調べてください。
・守山キャンパスの雑誌は OPAC では検索できません。守山キャンパス図書館ホームページ（http://www.nrs.aichi-pu.ac.jp/library/）の「所蔵雑誌目録」でお調べください。ただし、守山キャンパスの雑誌は貸出不可のため、直接来館するか文献複写を申し込んでください。（複写料金１枚４５円、送料は無料）
・OPAC（オーパックまたはオパック）とは、Online Public Access Catalog の略で、図書館の蔵書を検索するためのオンライン目録のことです。長久手キャンパス図書館にある OPAC 端末のほか、図書館ホームページ（http://www.aichi-pu.ac.jp/library/index.html）、携帯電話からも利用できます。OPAC を使った検索の仕方の概要については、別資料で紹介しています。
（⇒資料「OPAC を使った資料の探し方」）

・検索した結果、求める資料が図書館にあることがわかったら、OPAC の所蔵情報に表示された配架場所や請求記号等を確認して、図書を探します。資料種別ごとの探し方を以下に示します。

①図書
・配架場所：図書の場所を表します。
「長久手２階開架」「長久手２階小型」「長久手２階大型」「長久手２階教著」「長久手２階同窓」　→２階の各コーナーにあります。
「長久手１階参考」　→１階の参考図書コーナーにあります。
「長久手書庫」「長久手特別文庫」　→書庫にあります。
「守山-」とある図書は守山キャンパス図書館の蔵書です。「予約」
※書庫にある図書は、「図書請求票」に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。職員が書庫から図書を出納します。
※３年生の後期から、直接書庫に入ることもできますので、希望する場合はカウンターへ申し出てください。（詳細は、**書庫へ入る（8ｐ）**を参照）
・状態：図書の状態を表します。
「空欄」　：貸出可能です。書名・配架場所・請求記号などを控えて図書を探します。
「貸出中」：現在、貸出中のため利用できません。予約をすることができます。
※予約する場合は、「予約受付票」に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。あるいは、すでに図書館でパスワードの発行を受けた方は、「予約」ボタンをクリックすれば予約画面に進み、自分で予約することができます。新たにパスワード発行を希望する方は、カウンターに申し出てください。
※「貸出区分」が「貸出不可」になっている場合は参考図書など、館外貸出できない図書です。

②雑誌
・配架場所：雑誌の場所を表します。
「長久手開架雑誌（■年）」→過去■年分の巻号は１階雑誌コーナーに、それ以前の巻号は書庫にあります。
「長久手書庫雑誌」　→すべての巻号が書庫にあります。

・所蔵巻号：所蔵する巻号を表します。求める巻号が含まれているかどうかを確認してください。受入継続の欄が「受入継続中」と表示されている雑誌は、現在も受入が続いている雑誌です。所蔵表示がない巻号も、ほぼ最新号まで所蔵しています。
求める巻号を所蔵している場合は、雑誌名、請求記号（「P」で始まる）、配架場所等を控えて雑誌を探します。

③貴重書

・「特別書庫目録」を調べたら、書名と請求記号を控えておいてください。
・カウンターで「貴重書閲覧申請書」に記入し、図書が出納されたらカウンター近くの「貴重書閲覧室」で閲覧してください。貴重書の複写はできません。ただし、マイクロフィルム化されている一部資料については複写が可能です。
・マイクロフィルム化された資料は、ＯＰＡＣで検索することができます。

④マイクロ資料

・ＯＰＡＣで検索したら、タイトルと請求記号を控えておいてください。カウンターで「視聴覚資料請求票」に記入し、マイクロフィルムを受け取って、「マイクロ資料閲覧室」で閲覧してください。複写もできます（1 枚 70 円）。

⑤ＡＶ資料

・ＡＶ資料では、形態等による種類によって、請求方法が異なります。
ＤＶＤ、ビデオ　→ＡＶコーナーのＡＶ架から視聴したい資料をカウンターに持ってきて請求します。
ＣＤ、カセット、ＬＤ→カウンターにある各リストから選び、「視聴覚資料請求票」に必要事項を記入して請求します。
・ＡＶ資料は、ＯＰＡＣでも検索することができます。
・カウンターで、ソフトとヘッドホンを受け取ったら、ＡＶコーナーまたはフレンズブースで視聴してください。

マイライブラリに登録する

・「マイライブラリ」は、図書館に来館することなく、貸出・予約情報の確認、貸出中資料の予約、OPAC の任意の資料のリスト作成などができるサービスです。
・ログイン名とパスワードが必要です。必要な方は図書館カウンターまたはメールでお申し込みください。メールで申し込む場合は、以下の必要事項を記入してお送りください。再発行が必要な場合は、件名を「マイライブラリ再発行申請」としてください。

【宛先】etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp
【件名】マイライブラリ申請
【本文】氏名、所属（学部、研究科名）、
学籍番号または教職員番号（不明な場合は記入不要）、
図書館利用証番号（学籍番号と同じ場合は記入不要）
ご自分のメールアドレス

数日以内に、図書館からログイン名と初期パスワードをお知らせします。

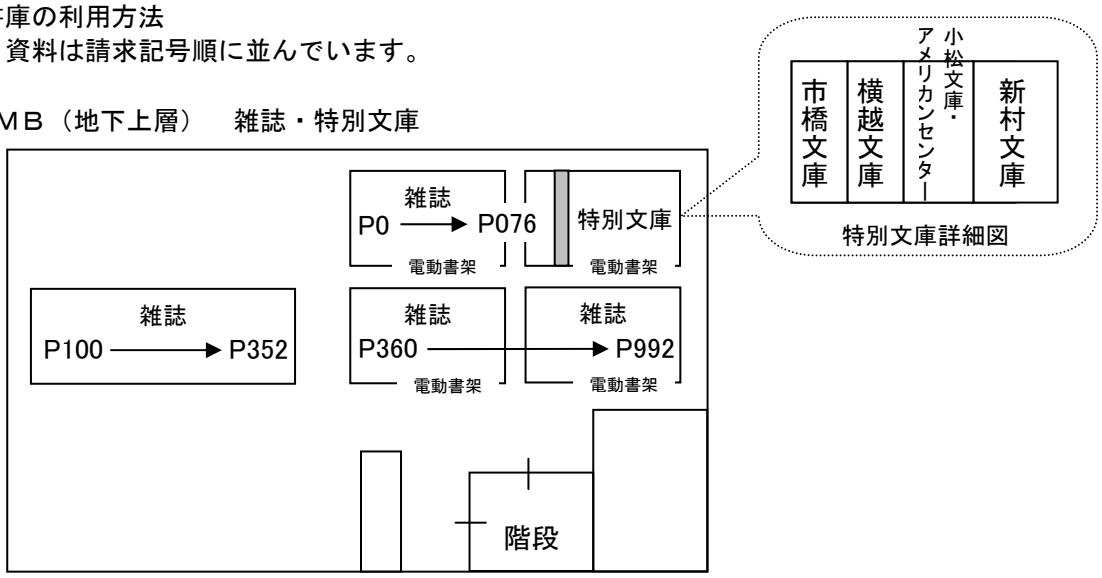
書庫へ入る

①書庫へ入ることのできる方
・教員、大学院生、卒業論文作成年次の学生です。

②手続き
・利用証（学生証または利用カード）を提示し、カウンターで番号札を受け取ってから入庫してください。
・利用が終了したら、カウンターで番号札を返却してください。
・書庫資料を持ち出す場合
　貸出を希望する場合　→　カウンターへ申し出て貸出手続きを受けてください。
　館内で利用する場合　→　カウンターにある「図書請求票」に記入し、提出してください。
　　利用終了後はカウンターに資料を返却してください。

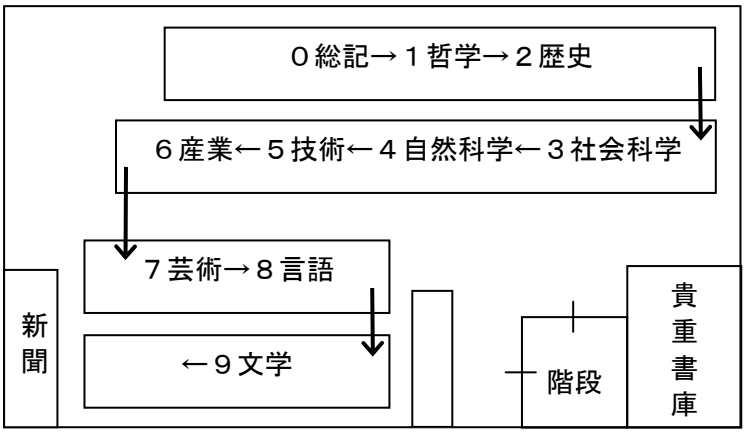
③書庫の利用方法
・資料は請求記号順に並んでいます。

ＭＢ（地下上層）　雑誌・特別文庫



＊電動書架の使い方
スイッチが ON であることを確認し、開けたい書架のボタンを押します。
ただし、他の箇所の電気がついているときは開きません。その場合は電気がついている箇所に行き、誰もいないことを確認してボタンを押し、電気を消します。
その後、開けたい書架に戻ってボタンを押してください。利用が終了したら、ボタンを押して電気を消しておいてください。

Ｂ１（地下下層）　図書



＊貴重書庫について
貴重書庫へは入れません。
1 階カウンターにある「特別書庫目録」から資料を選び、「貴重書閲覧申請書」に記入して提出してください。
資料が出納されたら、カウンター近くの「貴重書閲覧室」で閲覧してください。

１．２　データベース・電子ジャーナル

・データベースや電子ジャーナルは、端末に向かいながらにして、事典・辞書や雑誌論文、新聞記事などを検索できる二次資料であり、論文や記事の本文が提供されている場合は一次資料そのものです。
・長久手キャンパス図書館では、さまざまなデータベースや電子ジャーナルを利用できます。学内 LAN に接続されたパソコンであれば、キャンパス内のどこからでも利用できます。
・オンラインデータベースや電子ジャーナルから短時間に大量のダウンロードやプリントアウトを行うことは厳しく禁じられています。これらの行為を行うと、提供元から個人利用の範囲を超える契約違反とみなされ、全学的に利用停止になる場合がありますので、ご注意ください。
・長久手キャンパスで利用できるデータベースと電子ジャーナルの概要については、第 2 章・第 4 章（p.15～、p.37～）または別資料で紹介しています。

（⇒別資料「CiNii(NII 論文情報ナビゲータ)」
「EBSCOhost」

２　国内の大学図書館等を調べる

２．１　Webcat Plus（http://webcatplus.nii.ac.jp/）[図書館ホームページーリンク集－総合目録]

・長久手・守山キャンパス図書館に、求める資料が所蔵されていない場合は、国内の大学図書館を調べます。しかし、各大学の OPAC を１つずつ検索するのは大変な作業です。このような場合は、全国の大学図書館等が所蔵する図書や雑誌などを一度に検索できる Webcat Plus を使います。
・Webcat Plus は、国立情報学研究所（NII）が提供する学術コンテンツ・ポータル「GeNii（ジーニイ）」を構成するサービスのひとつで、インターネット上に一般公開されています。Webcat Plus を使うことによって、全国の大学図書館等が所蔵する図書や雑誌を一度に検索することができます。また、CiNii や EBSCOhost など、本学で利用できる論文データベースの検索結果から、Webcat Plus を参照し、該当論文が掲載されている雑誌の書誌情報や所蔵図書館を確認することもできます。

[Webcat Plus トップページ画面]

・「連想検索」と「一致検索」という機能があります。
・「連想検索」は検索キーワードから関連性の高い単語を抽出し、それを含む図書を探し出します。
・「一致検索」は探している図書や雑誌がある程度明確な場合に、タイトル・著者名・作品名・出版社・ISBN/ISSN 出版年などのキーワードから検索できます。
・一連の情報探索によって得られた本・作品・人物などの情報を整理して一時的に保存するための「連想×本棚」も特徴のひとつです。

[図書・雑誌詳細画面]

・NCID 番号をクリックするか（①）、「この本を所蔵する大学図書館」をクリックすると（②）どこの大学がその図書・雑誌を所蔵しているか分かります。

注　意

Webcat Plus で国内の大学図書館が所蔵するすべての資料を検索できるわけではありません。Webcat Plus に参加していない大学図書館もありますし、参加館によっては、すべての所蔵資料を Webcat Plus に登録していない場合もあります。それらについては、各図書館のＯＰＡＣを検索する必要があります。
長久手キャンパス図書館でも、Webcat Plus で検索できる図書は、所蔵資料の一部です。Webcat Plus の検索結果だけで判断せず、必ず OPAC で検索しましょう。

3　公共図書館を調べる

・求める資料が、公共図書館に所蔵されている場合もあります。国立国会図書館は、納本制度により、国内で発行された資料のほとんどを所蔵しています。また、近くの公共図書館にあれば来館して利用するとよいでしょう。大学図書館と並んで、公共図書館も上手に活用しましょう。

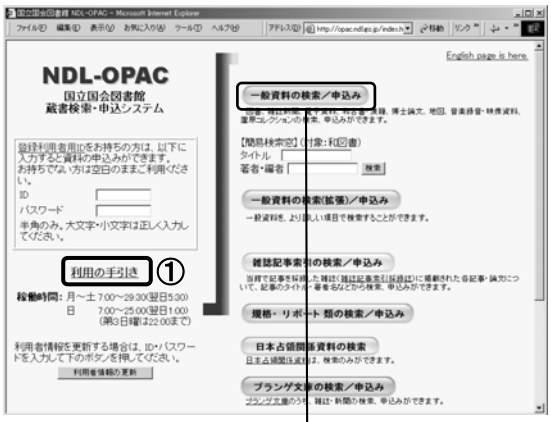
①NDL-OPAC（国立国会図書館 蔵書検索・申込システム）（http://opac.ndl.go.jp/index.html）

・NDL-OPAC の「一般資料の検索」で、国立国会図書館所蔵の明治以降の和書、洋書、雑誌・新聞、博士論文等が検索可能です。日本国内の博士論文（1967 年以降の受入分）や海外の博士論文（科学技術分野に関するものが中心）も検索できます。詳しくは、NDL-OPAC 画面の「利用の手引き」（①）をご覧ください。

・1986 年以降に整理したアジア諸言語（中国語、朝鮮語、インドネシア語・マレーシア語、ベトナム語、アラビア語、ペルシア語等）の図書や、中国語・朝鮮語の雑誌・新聞については、トップページの「資料の検索」タブのメニューにある「アジア言語 OPAC」で検索します。詳しくは、アジア言語 OPAC 画面の「HELP」（②）をご覧ください。

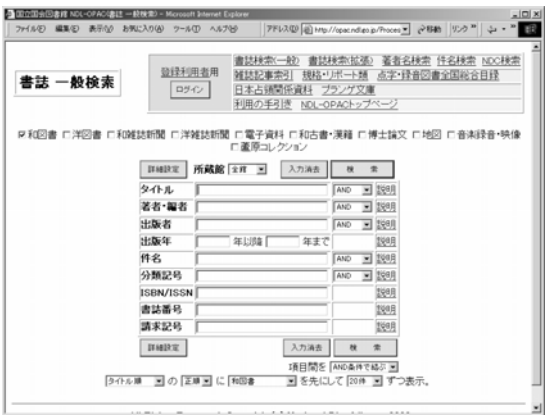
［国立国会図書館トップページ画面］

［NDL-OPAC 画面］



［アジア言語 OPAC 画面］

［一般資料検索］



＊登録利用者制度について（http://www.ndl.go.jp/jp/information/guide.html）

あらかじめ氏名・住所等を登録しておくことにより、さまざまなサービスが受けられます。例えば「遠隔複写サービス」では、個人でインターネットから文献複写を申し込むことができ、郵送または宅配便でコピーを受け取ることができます。詳しくは国立国会図書館のホームページを参照してください。

②総合目録ネットワークシステム（http://unicanet.ndl.go.jp/psrch/redirect.jsp?type=psrch）

・国立国会図書館ホームページで提供している。
・国立国会図書館、全国の都道府県立図書館、政令指定都市立図書館の所蔵する和図書を一度に検索できる。

③愛知県図書館「愛蔵くん」（http://www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi_oudan_f.htm）

・愛知県図書館ホームページで提供している。
・ウェブサイト上で蔵書検索のできる愛知県内の市町村立図書館等の所蔵を一度に検索できる。

④総合検索システム（http://nihudb.chikyu.ac.jp/GlobalFinder/cgi/Start.exe）

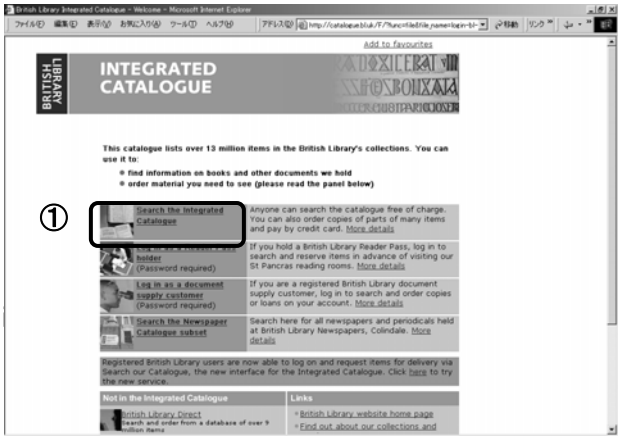
・人間文化研究機構の構成機関が公開する 100 以上の多種多様なデータベースを横断検索できる。内容は歴史学・考古学・日本文学・文化史・言語学・民俗学・民族学・文化人類学・環境学・国際日本研究など多岐にわたる。PORTA とも連携している。

いずれも[図書館ホームページーリンク集ー総合目録]から利用できます。

4　海外の図書館を調べる

・国内の図書館を探しても資料が見つからない場合は、海外の図書館をあたってみましょう。代表的なものに、各国の国立図書館があります。日本の国立国会図書館と同様、その国で出版された図書や雑誌を網羅的に収集しています。
・[図書館ホームページ-リンク集-総合目録]から利用できます。

①British Library (http://catalogue.bl.uk/F/?func=file&file_name=login-bl-list)
・イギリスの国立図書館。海外への資料提供サービスも充実しており、貸出や複写を依頼しやすい。

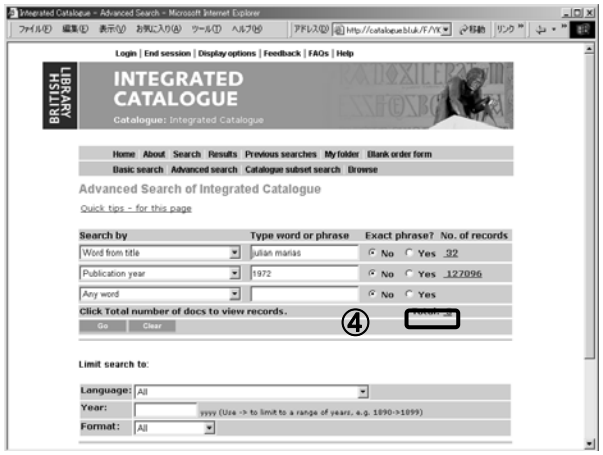


[Integrated Catalogue]画面

・蔵書目録を検索する場合は、「Search the integrated Catalogue」をクリックする(①)。

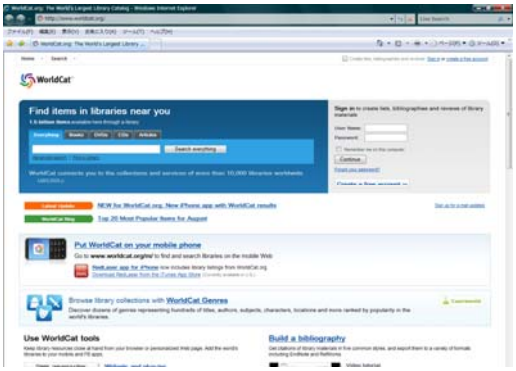
・雑誌記事索引を検索する場合は「British Library Direct」を選ぶ。

[Basic Catalogue]画面
・初期設定は、「Basic search（簡易検索)」になっている。
・「Advanced search」をクリックすると（②)、項目別に検索語を指定できる「Advanced search（詳細検索)」画面に移動する。
・指定した検索項目別に検索語を入力し、「Go（検索する)」をクリックする（③)。



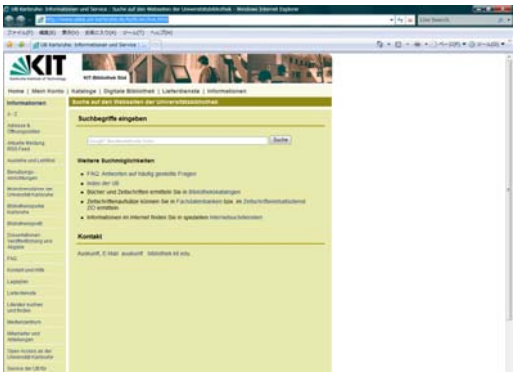
[検索結果画面]
・検索の結果、ヒットした資料の件数が表示されるので、数字の部分をクリックする（④)。
・資料の一覧画面が表示されるので、詳細情報を知りたい資料のタイトルをクリックする

②WorldCat（http://www.worldcat.org/）



・OCLC(Online Computer Library Center)による、世界最大の書誌データベース。世界の 10,000 を超える図書館のデータを検索でき、地域を指定して所蔵館を調べることもできる。

③KVK（http://www.ubka.uni-karlsruhe.de/hylib/en/kvk.html）



・ドイツ各州の総合目録と欧米の目録を横断的　　に検索できる。

④CCFR（http://www.ccfr.bnf.fr/portailccfr/servlet/LoginServlet）

・フランス国立図書館とフランスの公共・大学図書館の総合目録。

⑤中国国家図書館（http://www.nlc.gov.cn/）

・中国の国立図書館（北京図書館）。トップページから検索できる。

第２章　論文を探す

論文・レポートの作成には、先行論文の収集は欠かせません。

ここでは、論文を網羅的、効果的に探すことのできるデータベース（二次資料）について説明します。

1　総合的に国内論文を探す

［図書館ホームページ－データベース］

①　CiNii（サイニイ）（NII 論文情報ナビゲータ）

http://ci.nii.ac.jp

・CiNii（Citation Information by NII）は、国立情報学研究所（NII, National institute of infomatics）が提供する論文データベース・サービスです。
・国内で発行された学術雑誌の記事・論文を検索できます。一部本文も PDF 等で閲覧できます。
・日本語の学術論文を探したい場合は、まず CiNii を使うとよいでしょう。CiNii の概要や使い方については、別資料で紹介しています。

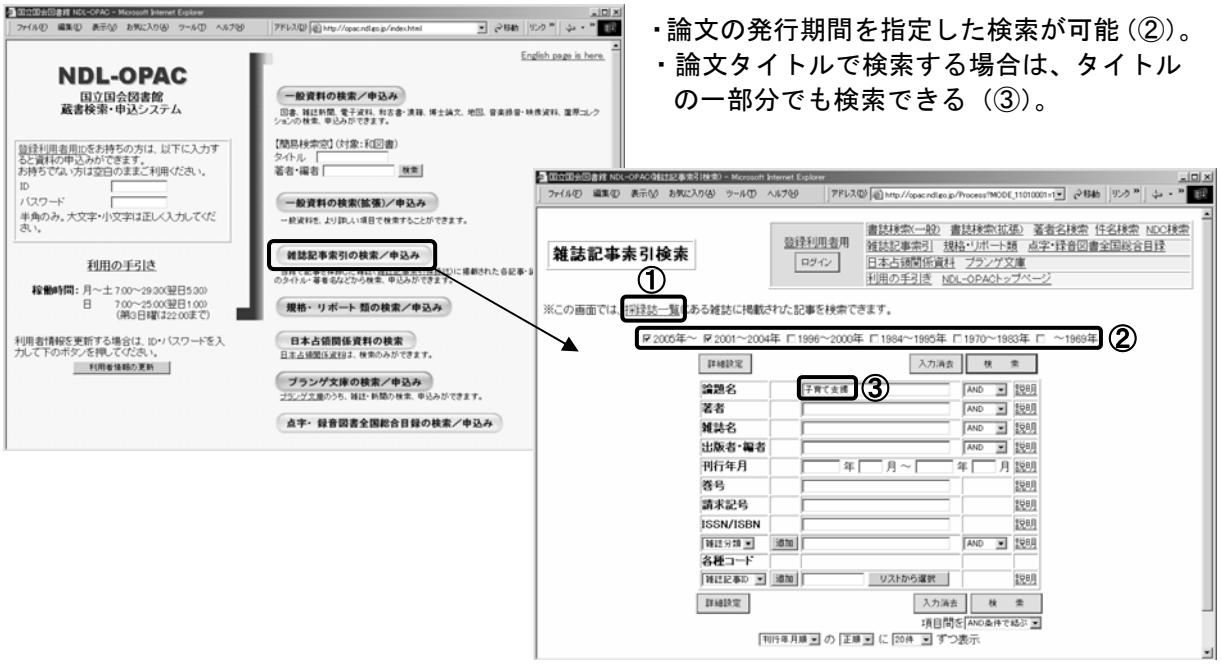
（⇒資料「CiNii（NII 論文情報ナビゲータ）」）

②　雑誌記事索引検索（国立国会図書館）

http://opac.ndl.go.jp

・国立国会図書館が作成している学術雑誌を中心とした雑誌記事索引です。
・CiNii に収録されています。国立国会図書館のサイトから直接検索することもできます。

［採録対象範囲］
・1948 年以降、学術雑誌を中心とした雑誌記事を検索できます。
・対象は、国内刊行の約 20,000 誌（現在採録中 約 10,000 誌）。詳しくは「採録誌一覧」（①）を参照してください。



・論文の発行期間を指定した検索が可能（②）。
・論文タイトルで検索する場合は、タイトルの一部分でも検索できる（③）。

【雑誌記事索引で検索できないもの】
・娯楽・趣味的雑誌
・2 ページ以下の記事は原則として収録されません
・図書に掲載された論文は対象にしていません

③　GeNii（ジーニイ）（学術コンテンツポータル）

http://ge.nii.ac.jp

・国立情報学研究所（NII, National institute of infomatics）が提供するポータルサイト。
・CiNii（p.16）, Webcat Plus（p.10）のほか、KAKEN（科学研究費補助金データベース）やNII-DBR　（学術研究データベース・リポジトリ）、JAIRO（学術機関リポジトリポータル）を一括検索できます。

④　大宅壮一文庫　雑誌記事索引検索　Web 版　[学内限定]

http://www.aichi-pu.ac.jp/library/db.html#oya

・「やわらかい」雑誌記事を探すならこちらを。週刊誌・総合誌・女性誌など、CiNii・雑誌記事索引（国会図）ではカバーできない一般誌を中心に収録されているのが特徴です。
・評論家大宅壮一が収集した雑誌資料を所蔵する専門図書館「大宅壮一文庫」の雑誌記事索引データベースです。
・学内 LAN から利用できます。（同時アクセス数：1）

[採録対象範囲]
・1988 年以降、300 万件の雑誌記事を検索できます。
・明治～1987 年までは、冊子体目録『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』（参考 039/*/21）で検索できます。

⑤『全国短期大学紀要論文索引』　日本図書センター　1950-1991（参考 041/*/816）
・かつて「雑誌記事索引」（国立国会図書館）の収録対象外であった短期大学刊行の紀要の論文を収録した論文索引。
・「雑誌記事索引」と『全国短期大学紀要論文索引』とを併用すれば、全国の大学・短期大学が戦後刊行した紀要論文をほぼ網羅的に調査することができる。

⑥『論文集内容細目総覧』記念論文集、一般論文集、シンポジウム・講演集　日外アソシエーツ（参考 027/＊/49）
・学会誌や紀要に比べて把握が難しい単行書の学術論文集について、個々の内容をまとめた目録。

２　総合的に海外論文を探す
［図書館ホームページ－データベース］

①　EBSCOhost（エブスコホスト）［学内限定］
http://search.ebscohost.com/login.aspx?authtype=ip&group=main

・EBSCOhost は、EBSCO 社が提供する学術情報オンラインデータベースです。
・主に外国雑誌論文についての複数のデータベースを検索し、得られた論文の全文や抄録を閲覧・印刷できます。
・外国語の学術論文を探したい場合は、まず EBSCOhost を使うとよいでしょう。EBSCOhost の概要や使い方については、別資料で紹介しています。
・ご自宅など学外からも利用できます。メールで申込みできますので、［図書館ホームページ－データベース］の案内をご覧ください。

（⇒資料「EBSCOhost)」）

②　Factiva.com（ファクティバ）［学内限定］
https://global.factiva.com/en/sess/login.asp?XSID=S00YXBrZWva5DEs5DEoNDUpOT2qMT7yMHn0YqYvMq382rbRQUFBQUFBQUFBQUFBQUFBQUFBQUFBQUFBQUFBQQAA

・世界各国のニュースや企業情報を提供するデータベース。新聞 2,300 紙、雑誌 4,200 誌を抄録・フルテキストで提供。
・日本語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語など 22 言語のコンテンツを収録しています。

③　Cambridge U.P.(CUP)（ケンブリッジ）［学内限定］
http://journals.cambridge.org/

・ケンブリッジ大学出版局が刊行する学術雑誌を収録した電子ジャーナルです。
・人文・社会科学分野を中心とする約 140 タイトルに掲載された論文の本文や抄録を PDF で見ることができます。
・ご自宅など学外からも利用できます。メールで申込みできますので、［図書館ホームページ－データベース］の案内をご覧ください。

④ Ingenta Connect（インジェンタコネクト）

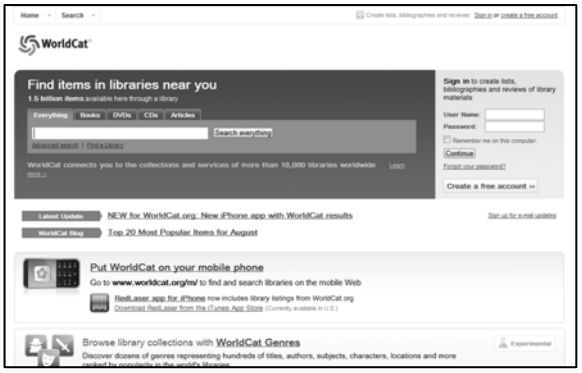
http://www.ingentaconnect.com/

・イギリスの Ingenta 社が、様々な出版社と提携し提供する、学術雑誌の論文情報データベースです。
・1988 年以降、約 13,500 タイトルの雑誌・図書、450 万件（2010 年 9 月現在）の雑誌記事・論文などの書誌情報を無料で提供しています。ほぼ全分野をカバーしますが、収録雑誌の分野としては、科学技術・医学系が５割強、社会科学系が４割、人文科学系が１割弱と言われています。
・全文は登録者用（有料）のため閲覧できませんが、検索まではインターネット上に無料で公開されています。

⑤ WorldCat（ワールドキャット）

http:// www.worldcat.org/

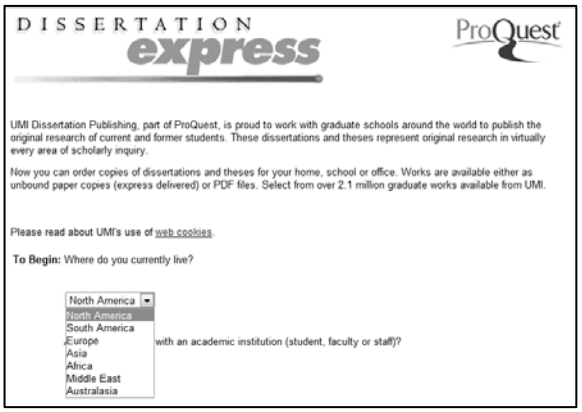
・1990 年以降に英米約 2 万 3 千誌に掲載された雑誌記事約 2,300 万件が検索可能です。



⑥ Dissertation Express

http://disexpress.umi.com/

・Proquest Information and Learning 社が提供している学位論文の検索・提供サービスです。全世界の 1,000 校以上の大学から収集した博士・修士論文の書誌データを提供しています。収録年度は 1861 年～です。



３　主題別に論文を探す

３．１　国語国文・歴史文化の論文を探すデータベース
［図書館ホームページ-データベース］

①　統合検索システム（人間文化研究機構）
http://humanist.nijl.ac.jp/GlobalFinder/cgi/Start.exe

・国文学・歴史学等のデータベースの横断検索システム。
・人間文化研究機構の構成機関が公開する 100 以上の多種多様なデータベースを横断検索できます。内容は歴史学・考古学・日本文学・文化史・言語学・民俗学・民族学・文化人類学・環境学・国際日本研究など多岐にわたっています。
・文献情報だけでなく、所蔵情報やコンテンツの本文そのものも検索できるのが特徴です。

［検索対象］
・国文学論文目録（大正元～現在）
・日本古典籍総合目録（『国書総目録』のオンライン版）
・史料情報共有化データベース
・日本民俗学文献目録
・二十一代集（本文）　　...etc

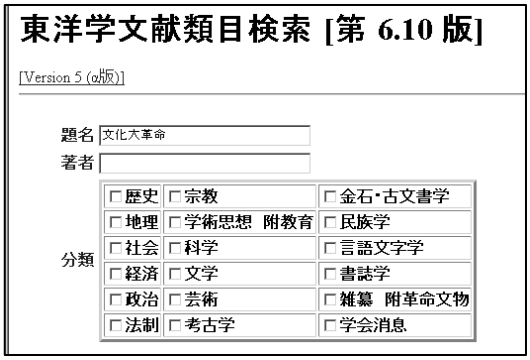
・国立国会図書館と連携しており、NDL-OPAC や近代デジタルライブラリーも同時に検索できます。

②　国語学論説資料
『国語学論説資料』第 1 号第 3 分冊（1964 年）、第 2 号第 1 分冊（1965 年）
『国語学論説資料索引』第 1 号～第 13 号（参考 810/1=>3/218A）

・「論説資料」とは、紀要を中心とした国内の逐次刊行物に発表された論文を、年度別・分野別に集録した図書です。
・読みたい論文が見つかったら、冊子「論説資料」で本文も入手できます。

３．２　中国関係の論文を探すデータベース
［図書館ホームページ-データベース］

①　東洋学文献類目検索（京都大学人文科学研究所東アジア人文情報学研究センター）
［第 5.2α版］http://mousai.kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/ruimoku5/index.html.ja
※1969～2000 年度版
［第 6.10 版］http://mousai.kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/ruimoku/index.html.ja
※1981 年度版～現在



・文献目録『東洋学文献類目』のオンライン版。
・中国、インドを中心とした東洋学関係（歴史、地理、社会、経済、政治、法制、宗教など）の論文・単行書を、日・中・韓文や欧文のものも含め幅広く収録・分類しており、先行研究を調べる際にまず見ておきたいデータベースです。
・文字コードは UTF-8。文字化けする場合はブラウザの［エンコード］で UTF-8 を選択します。

②　CNKI（中国学術情報データベース）
［日本 CNKI 数据库交换服务中心］ http://cnki.toho-shoten.co.jp/

・CNKI とは、中国発行の雑誌・新聞・学位論文・学会論文などの学術文献を検索できるオンラインサービスです。上に紹介しているのは CNKI の日本ミラーサイトで、検索までは無料です。
・Enter をクリックし、該当のデータベースを選択して検索します。
・本文は有料で国立国会図書館に複写依頼可能。

③　アジア経済研究所図書館　蔵書検索ＯＰＡＣ
http://opac.ide.go.jp/search/index.html

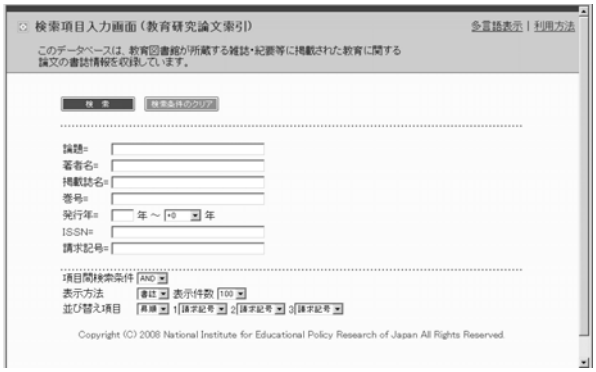
・アジア経済研究所とは、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニア、東欧諸国などの開発途上国・地域の経済、政治、社会の諸問題について研究や事業活動を行っている研究所です。
・同図書館の蔵書検索ＯＰＡＣでは、蔵書だけでなく、図書館が作成した雑誌論文・記事索引も同時に検索することができます。（日本語は 1982 年以降、欧米諸語は 1986 年以降）

④　中国関係論説資料　第 22 号（1979 年）～第 50 号（2008 年）（開架・書庫 051/*/65）
CD-ROM『中国関係論説資料索引』創刊号～第 46 号（CR/1=>46/49）

・「論説資料」とは、紀要を中心とした国内の逐次刊行物に発表された論文を、年度別・分野別に集録した図書です。
・CD-ROM「論説資料索引」を使って検索することができます。論文本文は、冊子「論説資料」で入手できるので、大変便利です。CD-ROM は、図書館電子メディア端末でご利用ください。

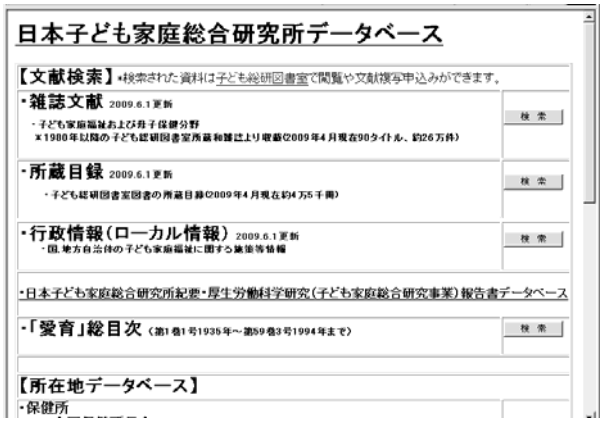
３．３　教育・福祉・看護学関係の論文を探すデータベース
［図書館ホームページ-データベース］

①　教育研究論文索引（国立教育政策研究所）　http://www.nier.go.jp/library/index.html



・国立教育政策研究所作成。
同研究所の教育図書館が受け入れた雑誌に掲載された教育関係論文（記事・資料）を、主題別に索引にしたもの。1969～1970年度および1983年度以降の論文が収録されている（1964年から1987年分は図書『教育索引』（参考 370/*/336)で検索できる)。
・CiNii 未収録の論文が多いため、併用が望ましい。

②日本子ども家庭総合研究所データベース　http://www.aiiku.or.jp/database/index.htm



・日本子ども家庭総合研究所作成の子どもや家庭、母子保健に関する雑誌文献索引。同研究所図書室所蔵の和雑誌90誌から、1980年以降の雑誌文献が収録されている。
・CiNii 未収録の論文が多いため、併用が望ましい。

③DiaL　社会老年学文献データベース　http://dia.co-site.jp/website/dial/

・（財）ダイヤ高齢社会研究財団作成の高齢者問題などに関する社会老年学の日本語文献データベース。全国レベルの学会誌で査読制度のあるものを中心とする計54誌に所載の文献が収録されている。検索ヒットした論文の抄録を表示できる。
・CiNii 未収録の論文が多いため、併用が望ましい。

④女性情報データベース横断検索システム　http://winet.nwec.jp/hbs/index.html

・国立女性教育会館女性教育情報センターおよび関連機関が提供するデータベースを横断検索できる。
ジェンダー、男性と女性に関する統計等、女性学に関係した情報が検索できます。

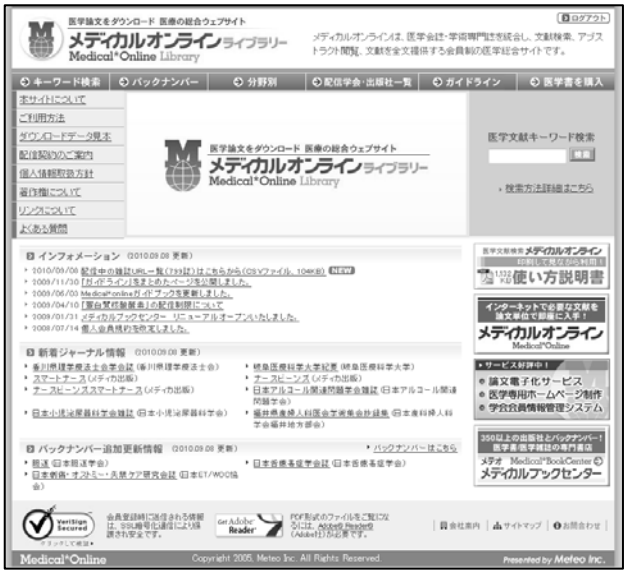
⑤特別支援教育情報データベース　特別支援教育関係文献目録

http://www.nise.go.jp/blog/toshoshitsu.html

・国立特別支援教育総合研究所図書室作成のデータベース。「特別支援教育学研究」誌掲載の文献目録を基礎データとした目録（1964 年 1 月～）を収録している。
・CiNii 未収録の論文が多いため、併用が望ましい。

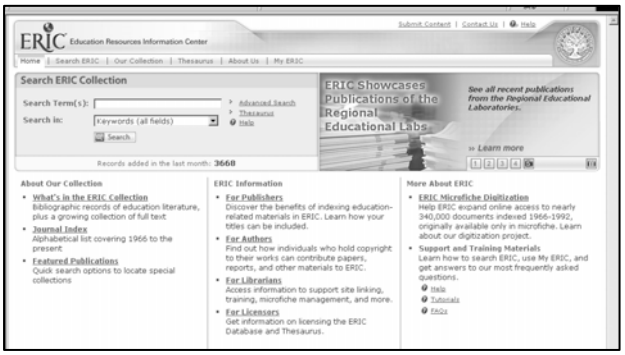
⑥メディカルオンライン　[学内のみ]

http://www.meteo-intergate.com/library/



・医学文献データベース。
・日本国内の学会・出版社発行の雑誌に掲載された医学、歯学、薬学、看護学、医療技術、栄養学、衛生・保健などのあらゆる医学関連分野の「医学文献」から検索できる。抄録・フルテキストを利用できる。

⑦**ERIC　[学内のみ]**　＊EBSCOhost を通じて提供しています。

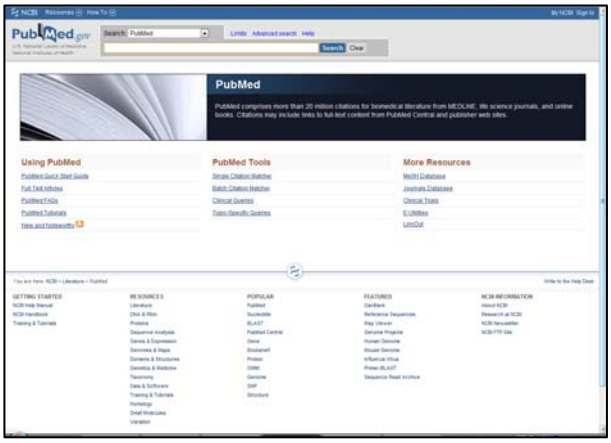


・米国教育省国立教育学図書館（Educational Resources Information Center:ERIC)作成の教育・心理学関連の欧文文献データベース。1966 年以降の論文・記事約 120 万件を検索できる。抄録が付いている文献もある。

⑧**PsycINFO　[学内のみ]**　＊EBSCOhost を通じて提供しています。

・心理学分野のデータベース。
・American Psychological Association 作成。心理学に関連する雑誌記事（99%が査読誌)、書籍、学位論文、技術報告書から 280 万件以上の文献情報や要約を収録している。
・収録範囲は 1887 年から現在までで、49 カ国、29 言語以上で出版された 2,400 点以上。
・心理学をはじめ、医学、精神医学、看護、社会学、教育学、薬学、生理学、言語学、文化人類学、ビジネス、法律まで、包括的にカバー。

⑨**PubMed**　http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi



・米国国立医学図書館(National Library of Medicine:NLM)が運営している医学文献データベース。世界約 70 カ国、約 4500 誌に掲載された 1951 年以降の文献を検索することができる。日本の雑誌は約 150 誌が収録対象となっている。
・医学系だが、児童福祉や高齢者介護などに関する文献も数多く収録されている。

⑩**『教育学論説資料』**第 1 号（1981 年）～第 19 号（1999 年)、第 21 号（2001 年）（開架・書庫 370/*/383）
CD-ROM『教育学論説資料索引』　創刊号～第 20 号　（CR//42）

・「論説資料」とは、紀要を中心とした国内の逐次刊行物に発表された論文を、年度別・分野別に集録した図書です。
・CD-ROM「論説資料索引」を使って検索することができます。論文本文は、冊子「論説資料」で入手できるので、大変便利です。CD-ROM は、図書館電子メディア端末でご利用ください。

３．４　外国語学・欧米関係の論文を探すデータベース
［図書館ホームページ-データベース］

①　MLA International Bibliography
＊EBSCOhost を通じて提供しています。

・Modern Language Association of America(MLA、米国現代語学文学協会)製作による文学、言語学、民俗学等に関する文献のデータベース。
・1926 年以降の、欧米をはじめ、アジア、アフリカを含む世界各国の出版物 200 万件以上の情報を収録しています。その中には、4,400 誌以上の雑誌に収録された論文をはじめ、図書、学位論文、研究報告書、会議録などが含まれ、文学・言語学研究には必須のデータベースです。

・収録対象分野
　文学　　:アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オーストラリアを含む世界各国の文学。
　文学理論・批評
　言語・言語学　:有史以降の言語研究。言語学の歴史・理論、比較言語学、意味論、文体論、統辞論等。
　民俗学　　:民俗文学、音楽、芸術、慣習、信仰体系。
　演劇芸術　　:映画、ラジオ、テレビ、演劇

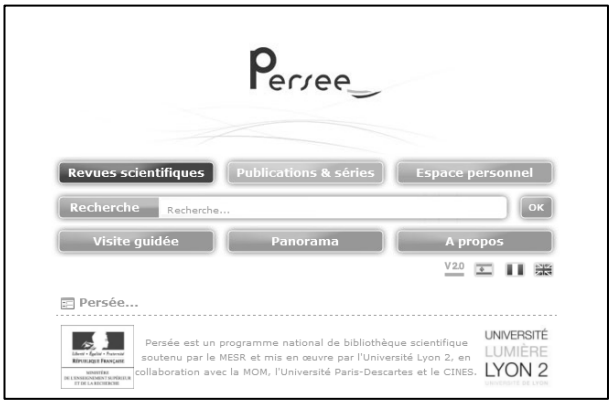
・調べ方の詳細は別資料「EBSCOhost」を参照。

②　『英語学論説資料』
第 1 号（1964 年）～第 42 号（2008 年）（参考 830.4/E37/*・書庫 830/*/415）
CD-ROM『英語学論説資料索引』創刊号～第 32 号（CR//29）

・「論説資料」とは、紀要を中心とした国内の逐次刊行物に発表された論文を、年度別・分野別に集録した図書です。
・CD-ROM「論説資料索引」を使って検索することができます。読みたい論文が見つかったら、冊子「論説資料」で本文まで入手することができるので、大変便利です。CD-ROM は、図書館電子メディア端末でご利用ください。

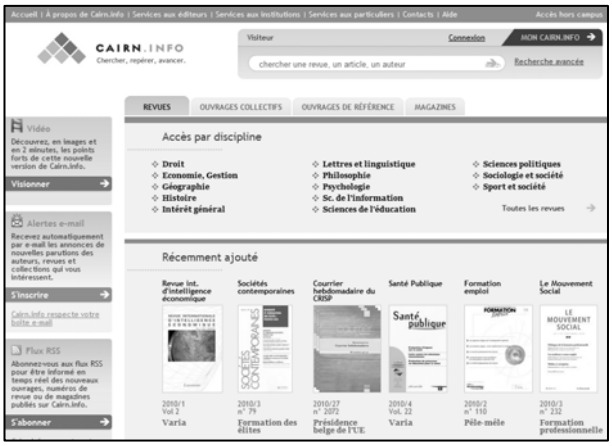
③ Persee : Portail de revues en sciences humaines et sociales

http://www.persee.fr/web/guest/home



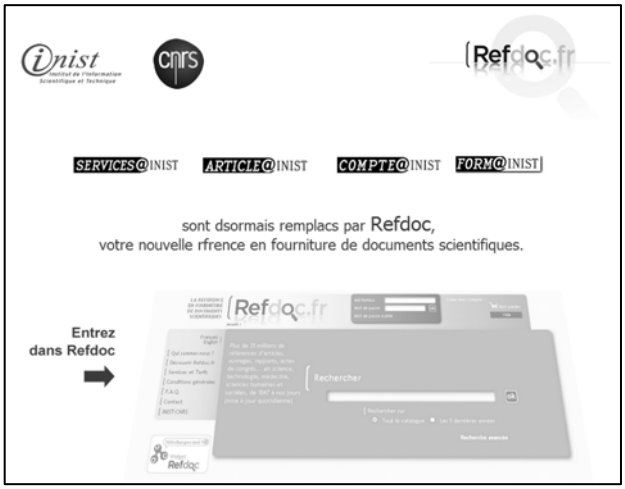
・フランス高等教育研究省や国立高等教育情報センター（CINES）が運営する人文社会科学系仏語雑誌の記事・論文検索ポータルサイト。
・１９世紀後半以降フランスで公刊された雑誌のうち、現在９０誌、２７万点をこえる資料を無料提供（うち１１万本あまりの学術論文がフルテキストで入手可能）。

④ Cairn.info http://www.cairn.info/



・フランスの複数の出版社や国立図書館が運営する人文社会科学系仏語雑誌の記事・論文検索ポータルサイト。
・現在２４２誌の最新号が随時掲載され、一定期間を経たものから記事・論文が無料で入手可能（いずれもフルテキストで入手可能）。

⑤ Artcle@Inist http://services.inist.fr/public/eng/conslt.htm



・科学技術情報研究所（Institut de l'information scientifique et technique : INIST）による、フランス雑誌記事索引データベース。

⑥ Zeitsehrifen-Service (StadtBibliothek Koeln)

http://www.stbib-koeln.de/zdkoeln/

・1987 年以降のドイツの雑誌論文を検索することができる。

⑦ BDSL (Bibliographie der deutschen Sprach- und Literaturwissenschaft)

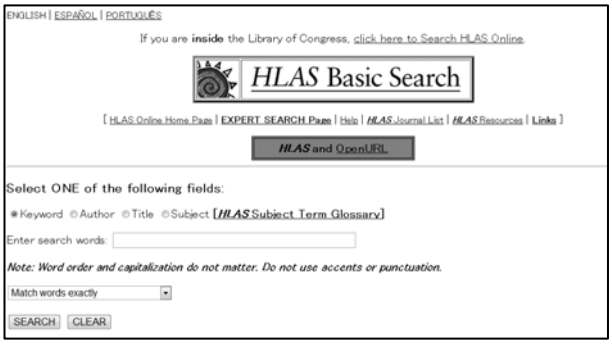
http://www.bdsl-online.de/

・ドイツ語学・文芸学の文献目録データベース。1985～1995 年の雑誌論文および論文集掲載の文献を検索可能です。

⑧ HLAS Online Home Page (Library of Congress)

http://lcweb2.loc.gov/hlas/mdbquery.html

・アメリカ議会図書館作成のラテンアメリカ研究文献索引。1936 年以降のラテンアメリカ文献が検索できる。



⑨ CLASE http://lcweb2.loc.gov/hlas/mdbquery.html

・ラテンアメリカで発行された人文・社会科学分野 1,500 誌について 1975 年以降の雑誌記事を検索できる。

⑩ Dialnet http://dialnet.unirioja.es/

・スペインおよびラテンアメリカの大学が共同で提供する人文・社会科学分野を中心としたスペイン語文 献データベース。学術雑誌や論文集に掲載された雑誌記事・論文や学位論文を検索することができ、抄録のほか、一部については本文も無料で閲覧することができる。

⑪ アジア経済研究所図書館　蔵書検索ＯＰＡＣ

http://opac.ide.go.jp/search/index.html

・アジア経済研究所とは、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカ、オセアニア、東欧諸国などの開発途上国・地域の経済、政治、社会の諸問題について研究や事業活動を行っている研究所です。

・同図書館の蔵書検索ＯＰＡＣでは、蔵書だけでなく、図書館が作成した雑誌論文・記事索引も同時に検索することができます。（日本語は 1982 年以降、欧米諸語は 1986 年以降）

３．５　情報科学関係の論文を探すデータベース
［図書館ホームページ-データベース］

①　J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）
http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja

・科学技術振興機構（JST）が提供する電子ジャーナルシステム。学協会が発行している学会誌，論文誌の発行を電子化し、インターネット上で公開している。

［主な収録学会（情報関係）］
映像情報メディア学会、
環境情報科学センター、
画像電子学会、
計測自動制御学会、
システム制御情報学会、
人工知能学会、
情報処理学会、
情報メディア学会、
電気学会、
電子情報通信学会、
日本機誠学会、
日本計算工学会、
日本社会情報学会、
日本ソフトウェア科学会、日本人間工学会、日本ロボット学会・・・・・など

②　IEEE CSDL［学内のみ］
http://www.computer.org/portal/site/csdl/index.jsp

・IEEE Computer Society Digital Library。IEEE（米国電気電子工学会）の出版物の電子ジャーナル。本文まで無料で入手できる。

③　Scirus（サイラス）
http://www.scirus.com/srsapp/

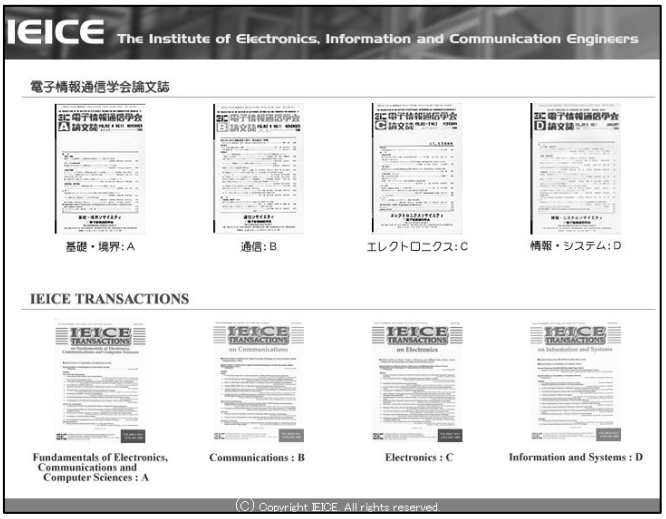
・エルゼビア社（オランダ・アムステルダム）が提供する科学技術関係の検索エンジン。
・２億以上の関連 Web ページを検索することができる。
・詳しい検索方法が「国立国会図書館：リサーチ・ナビ－調べ方案内－科学技術」に紹介されている。

④　電子情報通信学会

[論文誌本文]　http://www.ieice.org/jpn/index.html
[学会 HP]　http://www.ieice.org/jpn/index.html

・電子情報通信学会論文誌の電子版。基礎・境界：A、通信：B、情報・システム：Dの本文を PDF で見ることができます（英文誌含む）。学内のみ。

・また、[学会 HP]－[機関紙と出版物]－「技術研究報告データベース」をクリックすると、技術研究報告のバックナンバーをキーワードで検索でき、本文は冊子で閲覧できます。



＊冊子『電子情報通信学会技術研究報告』(P548-231) 閲覧の際の注意点
・『電子情報通信学会技術研究報告』はいくつかの研究会ごと発行されています。しかし、号数の付け方は研究会ごとではなく発行順に付けられ、ISSN も各研究会同じで１つしかつけられていません。
・長久手キャンパス図書館には、いくつかの研究会の「技術報告」が所蔵されていますが、バックナンバーの製本の仕方が「研究会ごと、レポート番号順」になっています。
・このため、レポート番号（資料番号）を必ず控えましょう。(例：NC2003-210)
・CiNii では、一部について全文閲覧もできます。

「電子情報通信学会技術研究報告」表紙

ISSN0913-5685
信学技報 Vol.106No.163

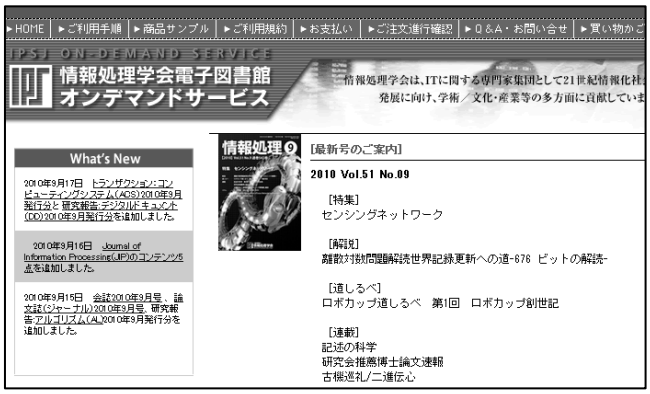
電子情報通信学会技術研究報告
IEICE Technical Report
NC2006-38～44
[ニューロコンピューティング]
2006 年 7 月 14 日
電子情報通信学会

←「信学技報」は略誌名。
No.は発行された順につく

←レポート番号
バックナンバーは研究会別、
番号順に製本されている

⑤　情報処理学会　http://www.ipsj.or.jp/

・[情報処理学会 HP]－[電子図書館]－[BookPark]をクリック。
・索引を無料で検索できる。本文は有料。



第３章　他機関の資料を利用する

必要な図書や雑誌論文などを長久手キャンパス図書館で入手できない場合があります。

ここでは、ＩＬＬサービスを使って他機関の資料を利用する方法について説明します。

1　資料を入手する方法

・資料を入手するには、以下のような方法が考えられます。
　① 長久手キャンパス図書館の所蔵資料を利用する。
　② データベース・インターネット上の情報を利用する。
　　・CiNii、EBSCOhost、電子ジャーナル、機関リポジトリ
　③ 他機関の資料を利用する
　　・近くの公共図書館から借りる
　　・ILL サービス
　④ 購入する。

・長久手キャンパス図書館の所蔵資料を利用できれば、それがもっとも手軽で余分な時間と費用がかからない方法です。
・１章で説明したように、長久手キャンパスで利用できるオンラインデータベース（CiNii、EBSCOhost など）や電子ジャーナルから論文・記事の本文が提供されていれば、それで論文を入手できたことになります。CiNii や EBSCOhost を検索した結果、論文本文が提供されていなくとも、リンクを通じて OPAC や Webcat Plus の所蔵情報を参照できる場合があります。
・大学・研究機関・学協会の紀要論文などは、各機関の Web サイトや機関リポジトリを通じて本文が提供されている場合が多く、機関リポジトリに収録されている紀要論文は、CiNii の検索結果からもリンクで参照することができます。
・以上の方法により、本学で資料や論文を入手できない場合は、以下で説明するように、他機関の資料を利用することになります。ただし、入手に要する時間や費用等の理由により、購入した方がよい場合もあります。

2　ＩＬＬ（Inter Library Loan）サービス

2．1　国内の所蔵館から資料を入手する

・他機関の資料を入手するには、直接来館、相互貸借、文献複写、の３つの方法があります。

紹介状・・・他機関に出向いて直接閲覧する
・手に入れたい文献を所蔵する図書館や機関に出向いて直接閲覧する場合、紹介状を持参する必要があります。

［利用方法］
①「紹介状発行願」に記入し、「紹介状」を受け取ります。
　発行願はカウンターで受け取ってください。
　有効期間は 2 週間。即時発行します。
　（訪問する図書館や機関によっては事前連絡を必要とするため、即日発行が難しい場合もあります。）
②利用機関で紹介状を提出して、利用を申し出てください。
　利用機関の利用規則は厳守してください。
　学生証も必ず持参してください。
［注意］
　休館日、交通経路等は事前に調査しておいてください。
　機関の事情で閲覧ができない場合もあります。（例：研究室所蔵資料）
　確実に資料を閲覧したい場合は、事前に問い合わせをしてください。

相互貸借・・・他機関から図書を借りる

・長久手キャンパス図書館を通じて、他機関の資料を借りることができます。

[利用方法]

①「学外への貸出依頼申込書」に記入し、提出してください。

申込書はカウンターで受け取ってください。5 件まで申込みできます。

到着までに 3 日～10 日程度かかります。

②図書が届くと図書館に掲示されるので、カウンターで手続きをします。

③ａ 館外貸出可の場合

相手館が認めた場合は、館外貸出が可能です。

返却期限と料金を指示しますので、期限内に料金と合わせて図書を返却してください。

③ｂ 館内閲覧の場合

相手館の指示で、館外貸出ができない場合もあります。その場合は、期限内に図書館内で閲覧して、利用が終了したら料金を提出してください。

[注意]

料金は、通常、往分が生協での支払い、復分が切手による支払いです。

（支払方法は相手館の指示によるため、これらの方法と異なる場合もあります。）

貸出を依頼できるのは、図書のみです。雑誌は依頼できません。図書でも、相手館の都合で貸出を断られる場合があります。（例：参考図書・貴重書）

資料の状態や相手館の指示により、複写ができない場合もあります。

図書の返却期限は厳守してください。遅れた場合、相手館から今後の依頼を断られる場合があります。

文献複写・・・他機関からコピーを取り寄せる

・雑誌論文など、欲しい資料が図書や雑誌の一部分である場合、相手館へコピーを依頼して郵送してもらうことができます。

[利用方法]

①「学外への文献複写申込書」を記入し、提出してください。

申込書はカウンターで受け取ってください。5 件まで申込みできます。

コピー到着までに 3 日～10 日程度かかります。

②コピーが届くと図書館に掲示されるので、カウンターで手続きをします。

③ａ 料金前払の場合

料金と支払方法を指示した用紙を渡します。

通常は生協への支払いです。期限内に料金の支払いまたは振込を行い、カウンターへ受領証を提出してください。引き換えにコピーを渡します。

③ｂ 料金後払の場合

相手館の指示で、請求書が翌月以降に届く場合があります。その場合は、先にコピーを渡します。

請求書が到着したら図書館に掲示します。期限内に振込を行い、振込後 2 週間以内に受領証を図書館へ提出してください。

[注意]

料金は相手館によりますが、コピー 1 枚 35 円～60 円程度で、その他に郵送料がかかります。一部手数料の必要な館もあります。

料金の支払方法（生協への支払、銀行振込、郵便振替、切手送付、現金書留等）は、相手館の指示によります。こちらの都合で選択することはできません。

料金の支払期限は厳守してください。遅れた場合、相手館から今後の依頼を断られる場合がありま

す。

２．２　海外の所蔵館から資料を入手する

BL（British Library）の場合

・BL の検索でヒットした場合、BL に貸出や複写を依頼することができます。（ただし貸出対象外の図書も多く、すべての図書が借りられる訳ではありませんので注意してください。）
・国内よりも費用はかかりますが比較的早く着き、日本円で支払ができるので、海外の図書館の中では依頼しやすい図書館です。

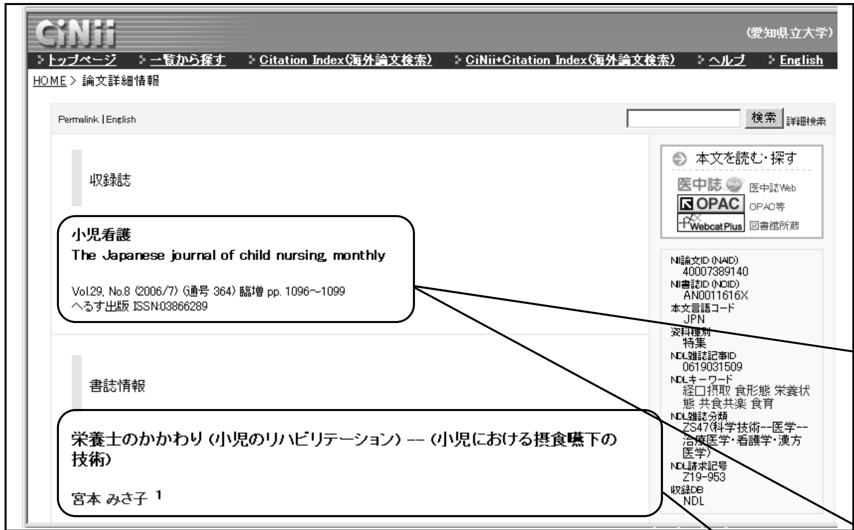
[料金]
図 書 の 貸 出：１冊あたり貸出料金 3,953 円＋返却時の郵送料金
複写　論文１件：2,315 円（頁数でなく論文単位）（2010 年 9 月現在）
[到着までの期間]
図書：２～３週間程度　利用期間：２週間程度
複写：２～３週間程度

BL 以外の図書館の場合

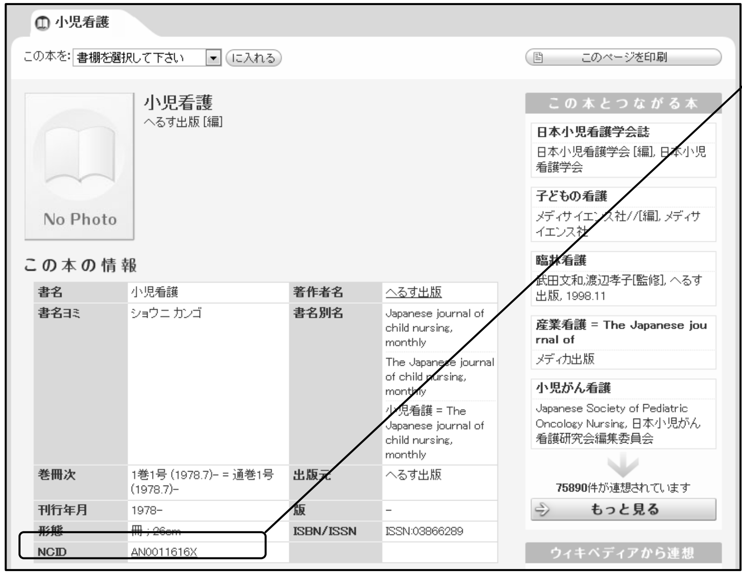
・BL 以外でも、海外の図書館に貸出や複写を依頼することができますが、到着までに数ヶ月かかることが多いです。複写料金にもかなりの高額の費用がかかります。図書館によっては依頼を断られる場合もあります。詳しいことは図書館カウンターで相談してください。

＊文献複写申込書の記入例

[CiNii の検索結果]



[Webcat Plus 画面]



学外への文献複写申込書

愛知県立大学学術情報センター長殿

下記のとおり、文献複写を依頼してください。
この申し込みによる著作権に関する一切の責任は、申込者が負います。

(フリガナ) 申込者氏名	(クマハルコ) 熊　張子	□教職員 □院生　年 ■学部生　4年	連絡先 TEL	＊＊＊ ― ＊＊＊＊ ― ＊＊＊＊ 研究室　内線 学内e-mail　@　.aichi-pu.ac.jp		
所　属	文　学部　研究科　児童教育　学科　専攻		職名 or 学籍番号	20********		
雑誌名・書名	小児看護					
発行者	へるす出版					
ISBN/ISSN	03866289					
NACSIS-ID	□AA　■AN □BA　□BN	0 0 1 1 6 1 6 x	□ヒットなし			
巻 号 頁 発行年月	巻: 29	号: 8	通号: 364	頁: 1096～1099	発行年: 2006	月: 7
論文著者	宮本みさ子					
論文名	栄養士のかかわり					
典　拠	(NACSIS-IDが「ヒットなし」の場合は、必ず記入してください。)					
依頼機関名	(図書館の方で選びますが、特殊な場合は記入してください。)					
費　用	(私費以外の場合は図書館から学部事務室・会計課へ連絡します。依頼先によっては不可能な場合や時間のかかることがあります。)					

第４章　いろいろな資料を探す

論文作成のために必要な資料は論文だけではありません。

いろいろな資料の探し方をテーマごとにまとめました。

1　国書（江戸時代以前の日本の本）を探す

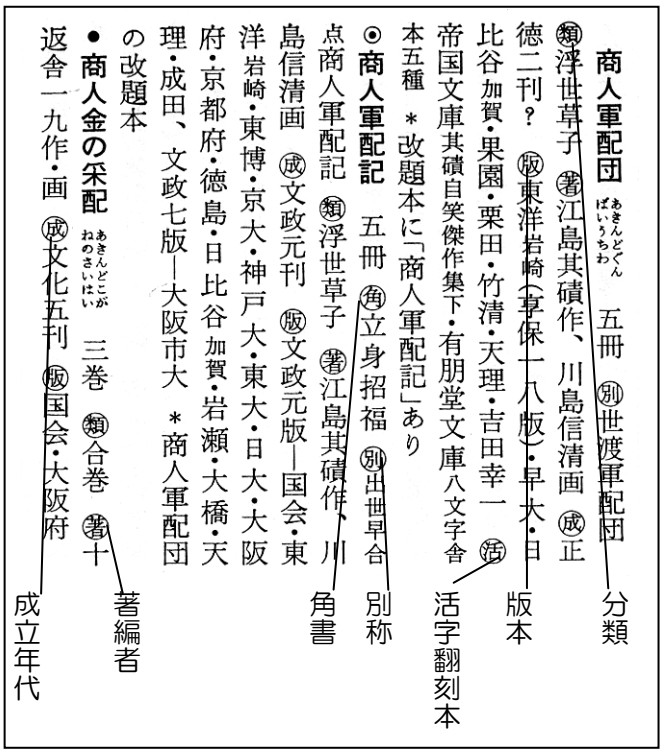
1．1　『国書総目録』岩波書店

・国書を調べる場合もっとも基本的な目録。国初から慶応 3 年までに刊行された日本人による著作、編集・翻訳した書籍とその所蔵館を調べることができます。
・全国の主要な公私立図書館、各大学付属図書館、各地の文庫等の所蔵目録から、広く情報が集められています。
・著者名・成立年代などの書誌事項のほか、分類、別称、写本・版本の所在、活字翻刻されているかどうか、復刻・複製本の有無など、さまざまな情報を得ることができます。

① 『国書総目録』1963-76　全 8 巻・別巻（書庫 025/*/76）
1960（昭和 35）年までに集められた情報を収録している。
② 『国書総目録　補訂版』1989-91　全 8 巻・別巻（参考 025/*a/76）
①の補訂版で、①の刊行時以降に明らかとなった追加・訂正事項を反映させるとともに、③に収載されている項目と同一項目について記号を付して参照できるようにしている。
③ 『古典籍総合目録』1990　全 3 巻（参考 025/*/76A）
①（および②）の続編で、1988（昭和 63）年度までに集められた情報を収録している。ただし、活字本・複製本の情報については収録していない。

『国書総目録』の使い方

・『国書総目録』は書名を項目として五十音順に並べ、読み、巻冊数、角書、別称、分類、著編者、成立年代、写本・版本の所在、活字本、複製本等の事項を取り上げています。



・記号について
㊥―角書　㊦―別称　㊩―分類　㊟―著編者　㊦―成立年代、あるいは初版刊年・初演年代（演劇関係）、序・跋、大まかな時代等
㊪・㊩―写本・版本　写本・版本の所在する図書館・文庫等。（図書館名・文庫名は略称で記される。）
㊤―活字翻刻（明治以後刊行の活字本の叢書に所収のもの、単行の活字翻刻本、または雑誌・紀要などに翻刻されたものが記されている。）　㊫―謄写翻刻　謄写版による翻刻本　㊨―複製本（コロタイプ版・オフセット版・凸版・凹版・木版・石版などの複製本が記されている。）
＊―備考　項目を記述するために利用した参考文献名や、あわせ本の内容、その他既出の各覧に記載できない事項

・書名は、角書を省いた形で探します。
角書（つのがき）
浄瑠璃・歌舞伎の名題（なだい）、草紙類の題名などの上に書かれた小さな字の部分。冠称。
例：「落話　嗚呼可笑」の「落話」の部分。

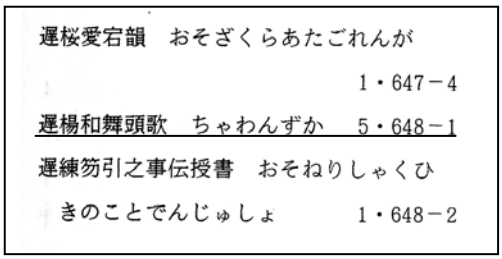
・別称、略称などで調べた場合は、→で示された書名が本項目なので、それらを参照しましょう。
　　例：嗚呼孝哉（ああこうなるかな）→敵討垣衣摺（かたきうちしのぶずり）
・項目は五十音順に並んでいます。ただし「ぢ」「づ」は「じ」「ず」のところに、助詞の「へ」「を」「は」は「え」「お」「わ」のところにあります。

書名の読みがわからないとき

『国書読み方辞典』植月博　おうふう　1996（参考 025//403）

・書名の中には読み方の難しいものも多く、読み方がわからない時は、『国書読み方辞典』で調べるとよいでしょう。
・書名の最初の字の画数から調べることができる総画索引や、最初の字の読みから調べることができる音訓索引がついています。

例：「遅楊和舞頭歌」の読みを調べる。


遅桜愛宕韻　おそざくらあたごれんが
1・647－4
遅楊和舞頭歌　ちゃわんずか　5・648－1
遅練笏引之事伝授書　おそねりしゃくひ
きのことでんじゅしょ　1・648－2

＜遅＞は 12 画→総画索引
＜遅＞は＜おそい＞と読む
　→音訓索引
　→1254 ページに記述があることがわかる。
　→「遅楊和舞頭歌」ちゃわんずか 5・648-1 との記述から、「遅楊和舞頭歌」の項目が『国書総目録』の第５巻 648 ページ１段目に掲載されていることがわかる。

・数字の前に古・演・国の字がついている時には、他の本が典拠になっている。（詳しくは『国書読み方辞典』の凡例を参照。）

活字、復刻・複製情報を補うには

・『国書総目録』のデータは 1960（昭和 35）年までであるため、それ以降に出版された活字、復刻・複製本の情報については、他の資料で補う必要があります。

①『国文学複製翻刻書目総覧』市古貞次、大曽根章介編　日本古典文学会貴重本刊行会　1982,1989 正・続（参考 910.3/*/99）
　翻刻や複製の出版情報を得ることができる。『国書総目録』より発行年の新しい本が掲載されている。
②『日本古典文学大辞典』日本古典文学大辞典編集委員会編　岩波書店　1983～1985　６冊（参考 910.3/*/100）
　明治以前までの国文学、国語学および関連分野の研究成果を集成した代表的な辞典。複製・翻刻があるものは記載されている。
③『全集・叢書細目総覧』国立国会図書館参考書誌部編　紀伊国屋書店　1973-1989　古典編・古典編索引・古典編続（参考 027/*/28）
　作品名から収録されている全集・叢書を引くことができる。明治以降 1985 年までに刊行された全集・叢書が対象。

＊活字本、復刻・複製本になっている場合は、それを収録している図書や雑誌のタイトルで長久手キャンパス図書館に所蔵していないか検索してみましょう。

１．２　日本古典籍総合目録（国文学研究資料館）

http://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/about.html　［図書館ホームページ-リンク集-研究機関］

・『国書総目録』（岩波書店刊）の継承・発展を目指して構築した、いわば「新国書総目録」ともいうべきデータベースで、『古典籍総合目録』刊行以後に追加した情報も含んでいます。
・人間文化研究機構統合検索システム（P20）でも検索できます。
・日本の古典籍（一部、漢籍・明治本を含む）の総合目録で、古典籍の書誌・所在情報を著作及び著者の典拠情報とともに提供しています。
・所在・翻刻複製情報は、『国書総目録』の内容をそのまま収録しているため、必ずしも現在の所蔵状況を示すものではないことに留意が必要です。

該当件数：1件（1-1件目）

全選択　全解除　書誌詳細

項目	内容
著作ID	1420297
統一書名	遅楊和舞頭歌 (ちゃわんずか), K, 1
巻冊	一冊
別書名	[1]茶椀頭歌(ちゃわんずか)
分類	俳諧
著者	仰山亭／支百(支百)編
成立年	天明六自序
著作注記	〈般〉浮流追善。
国書所在	【版】愛知女大，明大，天理綿屋
著作種別	和古書

	No.	書名,コレクション略称,請求記号,刊写の別,刊年 or 書写年,形態,冊数,残欠,書誌種別
□	1	遅楊和舞頭歌,愛知県大図,305－37－3,D9211,刊,1冊,M

【書誌詳細】　前画面へ戻る　検索画面

該当件数：1件（1-1件目）

統一書名,国書レコードか否か,国書内同名異書連番,分類,作品著者名,成立年,書誌件数

遅楊和舞頭歌,K,1,俳諧,仰山亭／支百(支百)編,天明六自序,1

項目	内容
書誌ID	100152485
記載書名	遅楊和舞頭歌(ちゃわんづか),外 茶碗塚(ちゃわんづか),序中
刊写の別	刊
出版事項	橘屋／治兵衛(たちばなや／じへえ)〈京(きょう)〉
形態	1冊
所蔵者	愛知県大図,027-533-1,M
マイクロ・デジタル情報	305－37－3,28コマ,B D9211,28コマ,B

・国文学研究資料館では、全国の各機関に所蔵されている和古書をマイクロフィルム化し所蔵しています。同館が所蔵しているマイクロ資料がある場合は、「マイクロ・デジタル情報」として表示されます。マイクロフィルムとして所蔵されていれば、同館に複写を依頼することができます。

<u>所蔵館がわかったら</u>

・通常の資料のように相互貸借や文献複写は難しい場合が多いですが、マイクロフィルムが作成されており、そこからの複写ができる場合もあります。また直接来館すれば閲覧できる場合もあります。
・その対応は所蔵館によって異なります。図書館カウンターまでご相談ください。利用の可否の問い合わせや紹介状の発行、資料の取り寄せなどさまざまなお手伝いをします。

２　史料を探す

＊１　国書（江戸時代以前の日本の本を探す）　の項も参照してください。

・歴史研究の材料のことを史料と言います。文献史料には以下のものがあります。
　文書－発信者と受信者とがあり、用件などの内容が書かれたもの。
　記録－自己の備忘のために書きとめたもの。日記など。
　典籍－著作物。文学作品など。

東京大学史料編纂所データベース

http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/　　[図書館ホームページ-リンク集-研究機関]

・東京大学史料編纂所が 1984 年から作成してきた多数のデータベースを、研究用に公開しています。
・史料の所在、史料全文検索、人名・肖像・花押目録、電子くずし字字典まで、内容は多岐にわたります。

[収録内容]
『大日本古記録』『大日本古文書』
『大日本史料』『史料綜覧』
『平安遺文』『鎌倉遺文』
　中世記録人名索引 DB　　肖像情報 DB
　花押カード DB　　電子くずし字字典 DB
　　...etc

＊検索対象・範囲はデータベースによって異なります。凡例等を確認してください。

主な史料集

・ここでは、複数の史料から記述を抜き出して時系列順に編纂した編年による史料集や、複数の史料を集めて収録した史料群である叢書について、その一部を紹介します。

[編年による史料集]

①『大日本史料』東京大学史料編纂所編　東京大学出版会（書庫 210/D25/*）
明治以来、六国史を継ぐ国史編纂の事業から起って、現在も刊行中の一大編年史料集。六国史以降明治維新までを十六の編に分け、史料を編年に収める。既刊の部分は『日本史文献解題辞典』の「大日本史料」の項で確認できる。

②『史料綜覧』東京大学史料編纂所編　東京大学出版会　全 17 巻（書庫 Y208/*/8, 210/*/20）
『大日本史料』の見出しである「綱文」とそこに引用する予定の史料名だけをまとめたもの。『大日本史料』未刊の部分を調べる場合、これを見て元の史料にあたることができる。

③『寧楽遺文』竹内理三編　東京堂出版　全 3 巻（書庫 210/*/445）
奈良時代の文書を編纂した史料集。

④『平安遺文』竹内理三編　東京堂出版　全 15 巻（書庫 210/*/3）
『平安遺文』CD-ROM 版（CR//5）
平安時代の文書を編年集成した史料集。

⑤『鎌倉遺文』竹内理三編　東京堂出版　全 42 巻（書庫 210.4/*/32）
鎌倉時代の文書を網羅的に編年集成した史料集。

⑥『南北朝遺文』東京堂出版（書庫 210.45/N48/*）
南北朝時代の文書を地域別に網羅して刊行した史料集。既刊は九州編、中国四国編など。

⑦『戦国遺文』東京堂出版（書庫 210.4/*/592,　210.47/Se94/*）
戦国時代の文書を集成した史料集。既刊は「後北条氏編」「武田氏編」「古河公方編」「佐々木六角氏」。

[叢書]

①『大日本古文書』東京大学史料編纂所編　東京大学出版会（書庫 210/*/55）
古代から近世にわたる古文書を収める。正倉院文書を主体とした奈良時代の文書を編年順に集めた編年文書、所蔵者別に編纂された家わけ文書、幕末外国関係文書の三種からなる。

②『大日本古記録』東京大学史料編纂所編　岩波書店（書庫 210.088/D25/*）
各時代・各階層にわたる貴重な記録類（主に日記）を収める。詳細な索引がある。

③『国史大系　新訂増補』黒板勝美編輯　吉川弘文館（開架 210/*/202A, 参考 210/*/202B, 書庫 Y208/*/11, 書庫 210/*/202）
古代から近世までの基本的史料 58 書目（主に編纂書物）を収める叢書。なお、収載された各史料についての解題的論文集『国史大系書目解題』（参考 210/*/229）がある。

④『増補史料大成』増補史料大成刊行会編　臨川書店　全 45 巻・別巻 3 冊（書庫 210/*/305）
『続史料大成』竹内理三編　臨川書店（書庫 210/*/168）
平安時代から室町時代にかけての貴族の日記を集めた叢書。

⑤『史料纂集』 続群書類従完成会（書庫 210/*/240*,　書庫 210.08/Sh89/*）
平安時代から江戸時代にかけての未公刊あるいは増補・改訂の望まれる史料を主に刊行。古記録編と古文書編からなる。

⑥『群書類従』塙保己一編　続群書類従完成会　全 30 冊（開架 Y081/*/6）
『続群書類従』塙保己一編　続群書類従完成会　全 86 冊（開架 Y081/*/7,　書庫 081/*/34）
江戸時代後期に塙保己一が編集した一大叢書。（『続』の刊行は塙保己一の没後）

⑦『続々群書類従』国書刊行会編　続群書類従完成会　全 17 冊（書庫 Y081/*/8）
『群書類従』にならい刊行された叢書。近世の文献を収録。

⑧『大日本近世史料』東京大学史料編纂所編　東京大学出版会（書庫 210.088/D25/*）
近世の主要な史料を原本に忠実に刊行している。幕府史料、藩政史料、学芸史料の 3 区分からなる。

⑨『圖書寮叢刊』宮内庁書陵部編　明治書院（書庫 081/*/80）
宮内庁書陵部の所蔵する図書のうち資料的価値の高い歴史・国文関係のものを翻刻した叢書。

⑩『徳川禁令考』[司法省原編]、法制史学会編、石井良助校訂　創文社　前集 6, 後集 4, 別巻（開架 322/*/691）
明治初年司法省によって編纂された江戸幕府法制史料集。

（参考）
「歴史資料集のみかた」大阪府立中之島図書館（http://www.library.pref.osaka.jp/nakato/osaka/reksiryo.html）
『日本史文献解題辞典』加藤友康, 由井正臣編　吉川弘文館　2000（参考 210/A/791,　書庫 210//791）

所蔵機関を調べる

① 『歴史資料保存機関総覧』地方史研究協議会編　山川出版社　1979　2冊（書庫 010/*/120）
全国の史料保存機関を府県別に編集し、収蔵史料、利用方法などについてまとめたもの。

② 『全国図書館案内　改訂新版』書誌研究懇話会編　三一書房　1990　2冊（書庫 010/*a/114）
全国の公共・大学図書館等について、主に文庫・コレクションを紹介。

③ 『地方史文献総合目録』阿津坂林太郎編　巌南堂書店　1970～1975　3冊（上・下・索引）（参考 210/*/261）
上巻は 1868（明治初）年から 1944（昭和 19）年までに刊行された地方史、下巻は 1945（昭和 20）年から 1970（昭和 45）年までに刊行された地方史を収録。所蔵館も示されている。

④ 『近世・近代史料目録総覧』国文学研究資料館史料館編　三省堂　1992（参考 029//401，書庫 029/*/401）
史料館の所蔵する近世・近代史料に関する目録類、地方史誌類、逐次刊行物収録目録類を収録。

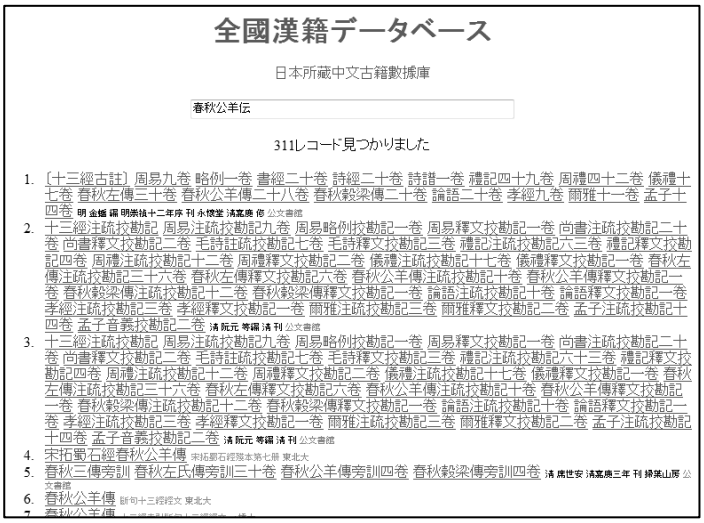
3　漢籍を探す

・漢籍とは、主に近代以前に漢文で書かれた書籍です。漢籍については、一般的な図書とは別に、漢籍独自の伝統的な四部分類に基づく目録が必要です。国内の漢籍の総合目録として、全國漢籍データベースがあります。

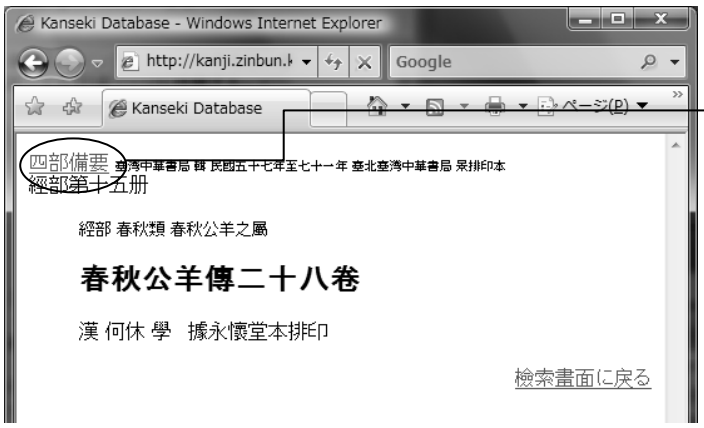
<u>全國漢籍データベース</u>（全国漢籍データベース協議会）
http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kanseki/　[図書館ホームページ-リンク集-総合目録]

・全国漢籍データベース協議会の運営による漢籍の所蔵データベース。
・伝統的漢籍分類法である四部分類に基づいて編集され、全国の主要な大学図書館・公共図書館に所蔵する漢籍を検索することができます。

<u>検索について</u>
＊文字コードは UTF-8。文字化けする場合はメニューの[表示]から[エンコード]UTF-8 を選択する。



［結果一覧画面］
・「書籍名／書誌事項／叢書名／所蔵機関名」の順で表示される。
・書籍名のリンクをクリックすると、書籍ごとの詳細ページに移動する。



［詳細結果画面］
・叢書名に張られたリンクを通じて、叢書のデータを見ることができる。（左図の場合、当該叢書「四部備要」のデータへリンクしている。）

＊長久手キャンパス図書館の所蔵を調べる場合にも使えます。

・探している資料が、カード目録や OPAC で見つからなくとも、長久手キャンパス図書館で所蔵している場合があります。叢書類に収められている漢籍は、個々の書名からは検索できない場合があるからです。
・「全國漢籍データベース」を検索した結果、叢書に収められていることがわかった場合、その叢書名でもう一度長久手キャンパス図書館の目録を検索してみましょう。その叢書を長久手キャンパス図書館で所蔵しているかもしれません。

４　新聞記事を探す

データベースで探す

①「Factiva.com」

・学内 LAN から利用できます。
・世界各国のニュースや企業情報を提供するデータベース。新聞 2,300 紙、雑誌 4,200 誌を抄録・フルテキストで提供。
・日本語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語など 22 言語のコンテンツを収録しています。
・The Wall Street Journal, The Times, Le Monde, Die Zeit, ABC など、各国主要新聞から地方紙まで幅広く収録。
・日本語では、毎日新聞、産経新聞、読売新聞、中日新聞など主要新聞も収録。
・使用後はかならずログアウトしてください（同時アクセス：3）。

②「聞蔵Ⅱビジュアル」（朝日新聞オンライン記事データベース）

・学内 LAN から利用できます。
・明治 12 年創刊～現在まで、キーワード等で検索できます。地域面も収録（愛知は 1994 年～）。
・朝日新聞以外にも、以下のコンテンツを収録しており、検索・閲覧できます。
　『ＡＥＲＡ』（1988 年 5 月（創刊号）～）
　『週刊朝日』（2000 年 4 月～、ニュース面のみ）
　『知恵蔵』（毎年春に更新）
　『人物データベース』（各界有識者を収録）
　『歴史写真アーカイブ』（満州事変の前後から敗戦までの写真を 1 万枚収録）
・使用後はかならずログアウトしてください（同時アクセス：1）。

新聞社サイトの無料検索サービスで探す　［図書館ホームページ-リンク集-新聞］

・最近の記事を探すには、インターネットで無料検索できる新聞社のサイトを利用すると便利です。ただし、検索できる期間が短いので注意が必要です。記事全文の閲覧は有料の場合もあります。

①日本経済新聞　http://www.nikkei.co.jp/
②日経 goo　http://nikkei.goo.ne.jp/
　＊日経４誌掲載の過去１年間の記事見出しが検索可能。ただし記事本文は有料。

③Ｎｅｗ　Ｙｏｒｋ　Ｔｉｍｅｓ　1851～　［アメリカ］
http://www.nytimes.com/ref/membercenter/nytarchive.html
　＊1980 年 6 月～現在は、上記のデータベース「Factiva.com」でフルテキストを入手できる。

④Ｆｒａｎｋｆｕｒｔｅｒ　Ａｌｌｅｇｅｍｅｉｎｅ　1993～　［ドイツ］
http://faz-archiv.faz.net/FAZ.ein

冊子体の二次資料で探す

データベースに入っていない記事や昔の新聞記事を探すには、冊子体の記事索引や新聞集成が役に立ちます。

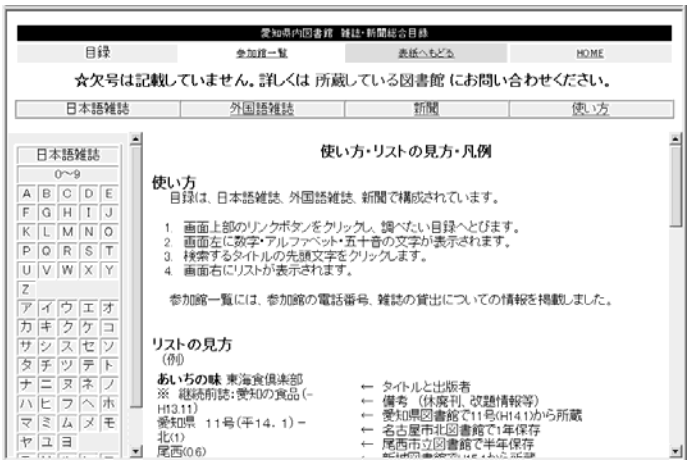
① 『毎日ニュース事典』　毎日新聞社　1973 年版～1980 年版（参考 071/*/20）
８年間にわたって１年ごと、毎日新聞に掲載された記事を索引化したもの。記事を一つ一つ簡潔な抄録にまとめ、わかりやすい見出し語をつけている。人名索引もある。
② 『新聞集成昭和編年史』　新聞資料出版　昭和 2 年～昭和 25 年（刊行中）（書庫 071/*/11）
新聞集成とは、複数のオリジナルの新聞から主要な記事を選択し、原文そのものを複製して掲載し、冊子体で刊行しているものである。
③ 『新聞集成大正編年史』　大正元年～大正 15 年（書庫 071/*/11A）
④ 『新聞集成明治編年史』　文久 2 年～明治 45 年（書庫 071/*/11B）
東京帝国大学にあった明治新聞雑誌文庫所蔵の新聞から重要度の高いものを編纂した力作。編集の特色は、政治・経済関係に弱いが、皇室関係と社会事件は相当細かく拾われていることである。全巻索引がある。

他機関の所蔵を調べる

①全国新聞総合目録データベース（国立国会図書館）
http://sinbun.ndl.go.jp/　[図書館ホームページ-リンク集-新聞]

・国立国会図書館及び全国機関の、新聞についての総合目録です。
・新聞の書誌事項を確認でき、見たい新聞を所蔵している機関を検索できます。またそれぞれの機関が所蔵している新聞を一覧でき、機関名から、所在地、連絡先、公開・複写・レファレンスの可否等がわかります。

②愛知県内図書館　雑誌･新聞総合目録（愛知県図書館）
http://www.aichi-pref-library.jp/soumoku/index.html　[図書館ホームページ-リンク集-図書館]



・愛知県内の公共図書館が継続して受け入れている雑誌・新聞がわかります。

長久手キャンパス図書館の新聞所蔵状況

前年１月～↓　　現在↓

朝日新聞 Ｐ071 - 4	※明治～現在まで、データベース「聞蔵Ⅱ」で検索・本文ダウンロード可	昭和１９年　～　現在 （ただし昭和 35 年 6 月分のみ欠） 〈縮刷版〉*1	＜現物＞ *4
中日新聞 Ｐ071 - 17		昭和４７年　～　現在 〈縮刷版〉*2	＜現物＞ *3
日経新聞 Ｐ071 - 6		昭和３３（２ - １２月） ～３４年（１ - ４月） 〈縮刷版〉*4	＜現物＞ *3
毎日新聞 Ｐ071 - 5	昭和３３（１ - ５，７ - １２月） ～３４年（１ - ８月） 〈縮刷版〉*4	昭和４５（４ - １２月） ～４９年（１ - ３月） 〈縮刷版〉*5	＜現物＞ *3
読売新聞 ＭＦＰ - ９	明治 7 年 11 月（1874） ～大正元年（1912） 〈マイクロフィルム〉*6		＜現物＞ *3
Japan Times			＜現物＞ *3

*1：朝日新聞縮刷版は、昭和 19～33 年までの分が書庫（ＭＢ）の「01」番書架に、昭和 34 年～前々年までの分が書庫（ＭＢ）の請求記号の場所に、前年 1 月～現在より約 3 ヶ月前までの分が１Ｆ新聞コーナーにあります。

*2：中日新聞縮刷版は、昭和 47 年～前々年までの分が書庫（ＭＢ）の請求記号の場所に、前年 1 月～現在より約 3 ヶ月前までの分が１Ｆ新聞コーナーにあります。

*3：新聞の現物は最近 3 ヶ月分が開架にあります。前年 1 月～現在より 3 ヶ月前までの分は、書庫（Ｂ１の天窓側の壁際）に保存してあります。

*4：書庫（ＭＢ）の「01」番書架にあります。

*5：書庫（ＭＢ）の請求記号の場所にあります。

*6：マイクロフィルムの請求は、青い視聴覚資料請求票に新聞の年月日を記入のうえ、カウンターの係員に出してください。

※ 書庫にあるものは、黄色い図書請求票に新聞名・年月日を記入のうえ、カウンターの係員に出してください。

※ 教員・大学院生・卒論学生の方は書庫に入れますので、自分で探すこともできます。

〈平成 22 年 9 月現在〉

５　辞書・事典を探す

５．１　JapanKnowledge（ジャパンナレッジ）　＋ NR

・百科事典・辞書・叢書などを集積した知識データベースです。
・学内 LAN から利用できます。
・キーワードで収録コンテンツを見出し一括検索できます。
・「個別」ボタンがあるコンテンツは、個別モードから、そのコンテンツを全文検索できます。
・利用後はかならずログアウトしてください（同時アクセス数：2)。

[収録内容]
「日本大百科全書(ニッポニカ)」
「日本国語大辞典」
「字通」
「日本歴史地名大系」
「東洋文庫」
「週刊エコノミスト」
「会社四季報」
「日本人名大辞典」
「ランダムハウス英和大辞典」
「ポケットプログレッシブ独和・和独/
仏和・和仏/伊和・和伊辞典」など

[便利な機能]
・Knowledge Searcher 機能
詳細画面で、画面右上の「Knowledge Searcher を使用する」にチェックを入れてください。
分からない語句を選択して反転させると、自動的にその語句を検索してリンク表示されます。

・引用情報が自動で記載　＊IE で利用可（FireFox、GoogleChrome 等には対応していません）
詳細画面で、画面右上の「Knowledge Searcher を使用する」のチェックを外してください。
引用したい部分をコピーし、Word 等に貼り付けると、以下のように自動的に引用情報が記載されます。

> 和歌、連歌（れんが)、俳諧用語。誤って「誹諧」とも書いた。
> ”俳諧”，日本大百科全書(ニッポニカ)，ジャパンナレッジ（オンラインデータベース)，入手先<http://www.jkn21.com>，(参照 2010-09-29)

６　行政情報を探す

・各種統計や法令など、行政資料を探す参考図書が、参考図書コーナーにあります。最新のデータはインターネット上に掲載されていることが多いので、それらもうまく活用しましょう。

６．１　統計

国内

［参考図書］

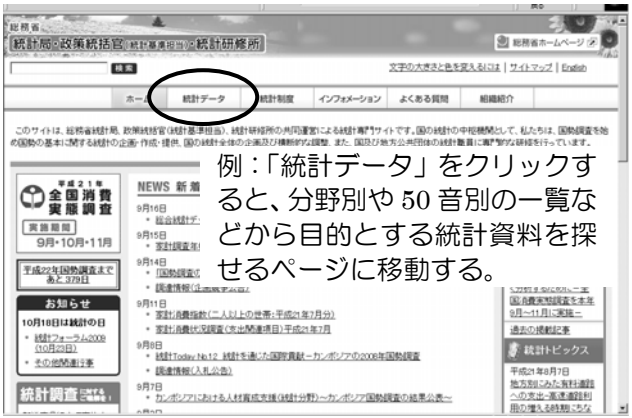
書名／著者名	出版者	請求記号
日本統計年鑑／総務省統計局	日本統計協会	351/N71/*
日本の統計／総務省統計局	総務省統計局	351/N71/*
統計情報インデックス／総務省統計局	日本統計協会	351/*/39
日本国勢図会／矢野恒太記念会	矢野恒太記念会	351/N71/*
数字でみる日本の 100 年／矢野恒太記念会	矢野恒太記念会	351/Su53/*
愛知県統計年鑑／愛知県企画振興部統計課	愛知県企画振興部統計課	351.55/A23/* 愛知県 HP より公開
統計でみる都道府県のすがた／総務省統計局	総務省統計局	361.91/To29/*
統計でみる市区町村のすがた／総務省統計局	総務省統計局	361.91/To29/*
厚生統計要覧／厚生労働省大臣官房統計情報部	厚生統計協会	498.059/Ko83/*
厚生の指標／厚生統計協会	厚生統計協会	長久手開架雑誌（20 年）P369-462

［インターネット情報源］　［図書館ホームページ-リンク集-行政情報］

①世論調査（内閣府）　http://www8.cao.go.jp/survey/index.html

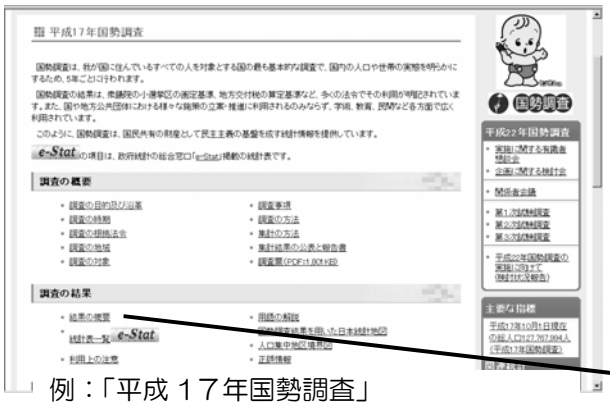
・内閣府のホームページから閲覧でき、調査別（国民生活、社会意識など）、年度別などから選択できる。
・昭和 43 年 11 月以降に実施された調査の概要および調査結果の概要、調査票を掲載している。また平成 11 年度以降に実施された調査については、調査結果の表を CSV ファイル形式で表示できる。

②総務省統計局（総務省）　http://www.stat.go.jp/



例：「統計データ」をクリックすると、分野別や 50 音別の一覧などから目的とする統計資料を探せるページに移動する。

・各種統計データが取り上げられている。各調査の概要や用語解説なども掲載されており、統計表は Excel ファイル形式で開くことができる。
・統計データの分野別一覧や 50 音順一覧、統計表一覧もあり、目的とする統計資料が探しやすくなっている。
・『日本統計年鑑』、『日本の統計』、『世界の統計』などの最新版に掲載された統計表もすべて閲覧できる。また 5 年ごとに行われる「国勢調査」の集計結果も掲載されている。



例：「平成１７年国勢調査」
必要とする項目をクリックしていくと、
Excel ファイルで統計表が表示される。

②厚生労働省統計表データベース（厚生労働省）　http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html

・厚生労働省で実施している主要統計調査結果が提供されている。
・人口・世帯、保健衛生、社会福祉など、分野別から、目的とする統計表を探し出し、画面表示やダウンロード（ＣＳＶ形式、Ｅｘｃｅｌ形式等）して利用できる。

③統計リンク集（愛媛大学法文学部総合政策学科佐藤研究室）
http://cpmserv.cpm.ehime-u.ac.jp/sato/link/

・愛媛大学法文学部総合政策学科佐藤研究室が制作している統計リンク集。

海外

［参考図書］

書名／著者名	出版者	請求記号
（世界）		
世界の統計（国際統計要覧）／総務庁統計局	総務庁統計局	350/Se22/*
国際連合世界統計年鑑／国際連合統計局	原書房	350.9/Ko51/*
世界国勢図会／矢野恒太記念会	国勢社	350.9/Se22/*
世界経済・社会統計／世界銀行	東洋書林	330/*/471
世界人口年鑑／国際連合統計局	原書房	334/*/17
Demographic Yearbook ／ Department of Economic and Social Affairs	United Nations	350/D56/*
ユネスコ文化統計年鑑／ユネスコ	原書房	350/*/110
世界各国間貿易統計年報	オムニ情報開発	678/*/397
（地域別）		
ヨーロッパ歴史統計：1750-1993／ブライアン・R・ミッチェル	東洋書林	350/1a/113
アジア・アフリカ・大洋州歴史統計：1750-1993／ブライアン・R・ミッチェル	東洋書林	350/2a/113
南北アメリカ歴史統計：1750-1993／ブライアン・R・ミッチェル	東洋書林	350/3a/113
中国统计年鉴／中华人民共和国国家统计局	中国统计出版社	352/C62/*
ヨーロッパ統計年鑑／ヨーロッパ連合	東洋書林	353/Y84/*
EUrostat yearbook/Statistical Office of the European Communities	Office for Official Publications of the European Communities	353/E85/* (2006,07年以前は､353/*/163)
Annuaire statistique de la france／Institut national de la statistique et des études économiques	Institut national de la statistique et des études économiques	353/*/1
現代アメリカデータ総覧／アメリカ合衆国商務省センサス局	原書房	355/*/7
Statistical Abstract of the United States	U.S. Govt. Print. Off.	355.3/St2/*

［インターネット情報源］

①総務省統計局　　http://www.stat.go.jp/　　［図書館ホームページ-リンク集-行政情報］

・トップページ左の「インフォーメーション」内の「リンク集」から、外国政府の統計機関へのリンクがまとめてあるページへ行くことができる。

６．２　白書

・白書とは、中央省庁が、政治経済社会の実態及び政府の施策の現状について国民に知らせるために公表する政府刊行物のことです。また、各種団体等が発行する資料にも「白書」の名称が付いたものがあります。
・下記表に掲載した白書は、当館で所蔵する白書の一部の例です。必ずしも各最新版を所蔵しているとはかぎりません。各省庁や首相官邸のホームページなどもあわせてご覧ください。

［参考図書］

書名／著者名	出版者	請求記号
（政府）		
人権教育・啓発白書／法務省、文部科学省	国立印刷局	316/*/1204
犯罪白書／法務省法務総合研究所	国立印刷局	326.3/H29/*
経済財政白書／内閣府	国立印刷局	332/*/50
少子化社会白書／内閣府	ぎょうせい	334.31/Sh96/*（2007 年以前は、334/*/913）
国民生活白書／内閣府	国立印刷局	364/*/22
男女共同参画白書／内閣府男女共同参画局	国立印刷局	367.2/*/275
青少年白書／内閣府	国立印刷局	369/*/45
障害者白書／内閣府	国立印刷局	369/*/2328
高齢社会白書／内閣府	ぎょうせい	369.2/*/133
文部科学白書／文部科学省	国立印刷局	373.1/Mo31/*
厚生労働白書／厚生労働省	ぎょうせい	498.1/Ko83/*
（各種団体等）		
女性白書／日本婦人団体連合会	ほるぷ出版	367.21/J76/*
子ども白書／日本子どもを守る会	草土文化	369.4/Ko21/*
世界子供白書／ユニセフ（国連児童基金）	ユニセフ駐日事務所	369.4/*/220
保育白書／全国保育団体合同研究集会実行委員会	草土文化	369.42/H81/*
発達障害白書／日本発達障害福祉連盟	日本文化科学社	493.7/*/58

［インターネット情報源］　［図書館ホームページ－リンク集－行政情報］

①白書（年次報告書）
http://www.kantei.go.jp/jp/hakusyo

・首相官邸のホームページから閲覧可能。閲覧したい白書名をクリックすると、各省庁が作成する白書のページが開き、内容を見ることができる。

＊首相官邸の白書のページに表示がなくとも、実際には発行済みの白書もある。そのため自分の見たい白書が出ていない場合は、直接該当の省庁のホームページを確認するとよい。ほとんどの省庁で、トップページに「白書」の項目が作られている。

６．３　法令

国内

・法令：国会が制定する法律及び国の行政機関が制定する命令を合わせて呼ぶときに用いられる語。
　　しかし、場合によっては、地方公共団体の制定する条例や規則、最高裁判所規則等の各種の
　　法形式を含めていうこともある。
・判例：裁判の先例。個々の判決をいう場合もある。

法令用語研究会編『有斐閣法律用語辞典　第２版』有斐閣 2000 より

＜法令＞

[参考図書]

書名／著者名	出版者	請求記号
現行日本法規／法務省編（H19 加除中止）	ぎょうせい	320/*/114
六法全書／我妻栄、宮沢俊義	有斐閣	320.91/R69/*
文部法令総覧／文部法令研究会	ぎょうせい	373/*/754
現行社会保険六法	第一法規	364/*/326
社会福祉六法／社会福祉法規研究会	新日本法規出版	369/*/584
注解社会福祉六法	第一法規	369/*/1478
児童福祉六法／厚生省児童家庭局	中央法規出版	369/*/742
社会福祉士･介護福祉士関係法令通知集／社会福祉振興・試験センター	第一法規出版	369/*/1643
老人六法	中央法規出版	369/*/2376
長寿社会関係法令通達資料集／長寿社会法令研究会	第一法規出版	369/*/2384
教育小六法／兼子仁ほか	学陽書房	373/*/24
解説教育六法／解説教育六法編修委員会	三省堂	373.22/Ka21/*
保育小六法	中央法規出版	376.1/H81/*

[インターネット情報源]　[図書館ホームページ-リンク集-行政情報]
①法令データ提供システム（総務省）　http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi

・現行の法令（憲法、法律、政令、勅令、府令、省令、規則）を検索し、法令データの内容（本文）まで閲覧可能。
・法令名（略称法令名）中の用語から検索できる法令索引検索と、法令文中の用語から検索できる法令用語索引がある。(例)介護福祉士や児童虐待などの用語を含んだ法令の内容を調べることができる。
＊廃止法令等一覧では平成１３年４月１日以降に、廃止等で本システムから削除された法令データを閲覧できるが、それ以前のものは「②日本法令索引」などを調べること。

②日本法令索引（国立国会図書館）　http://hourei.ndl.go.jp/SearchSys/

・現行法令や廃止法令の改正経過（法令沿革）や審議経過を調べることができる。原則として明治 19 年公文式施行以降の法令情報を掲載している。
・現行・廃止の両法令を一度に検索も可能（横断検索）。（例：児童虐待で検索すると現行・廃止法令とも 3 件ヒットし、昭和 8 年に児童虐待防止法が存在したことがわかる。昭和 22 年に廃止）
＊法令の内容は閲覧できないので、制定時公布年月日の「官報」や『法令全書』を参照のこと。ただし長久手キャンパス図書館では、これらを所蔵していないので、愛知県図書館などの公共図書館で閲覧する。

＜判例集＞

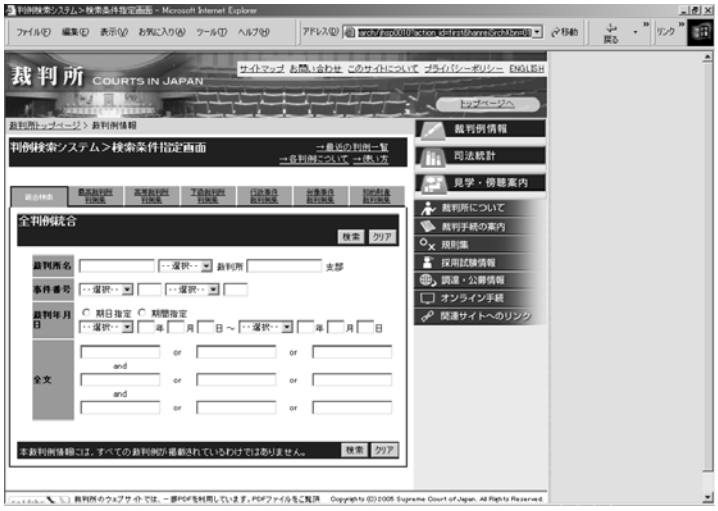
[図書・雑誌]

①最高裁時の判例：平成元年-平成 14 年（ジュリスト増刊）
　有斐閣　2003-2004　4 分冊　（開架　320/*/551）

＊以下の資料は、長久手キャンパス図書館では**雑誌扱い**となっている。欠号も多いので注意。
②最高裁判所判例集（民事・刑事）　所蔵年次 1947-　（開架 1 年　P320-32）
③高等裁判所判例集（民事・刑事）　所蔵年次 1947-2002　（書庫　P320-33）
④家庭裁判月報　所蔵年次 1953-1998　（書庫　P320-63）
　毎月、家事関係裁判例と少年関係裁判例が数件ずつ掲載されている。
⑤ジュリスト　所蔵年次　1959-　（開架 20 年　P320-47）
⑥別冊ジュリスト：判例百選シリーズ　所蔵年次 1965-　（開架 20 年　P320-129）
　少年法百選や家族法判例百選もある。1F 雑誌架にリストがあるので参照のこと。
⑦判例時報　所蔵年次 1972-（開架 1 年　P320-193　継続受入中）
　1101-2000 号(1984.3.1-2008.6.11)までの総索引 7 冊(1230, 1335, 1447, 1528, 1622, 1722, 1827, 1924, 2016 号)を使って判例を調べるとよい。2000 号からは別冊付録（2027, 2063）を使うとよい。

[インターネット情報源]　[図書館ホームページ-リンク集-行政情報]

①判例検索システム（裁判所）
　http://www.courts.go.jp/search/jhsp0010?action_id=first&hanreiSrchKbn=01



・裁判所ホームページの「裁判例情報」から。
・最高裁判所判例集や高等裁判所判例集などに登載された判決を検索、全文閲覧ができる。

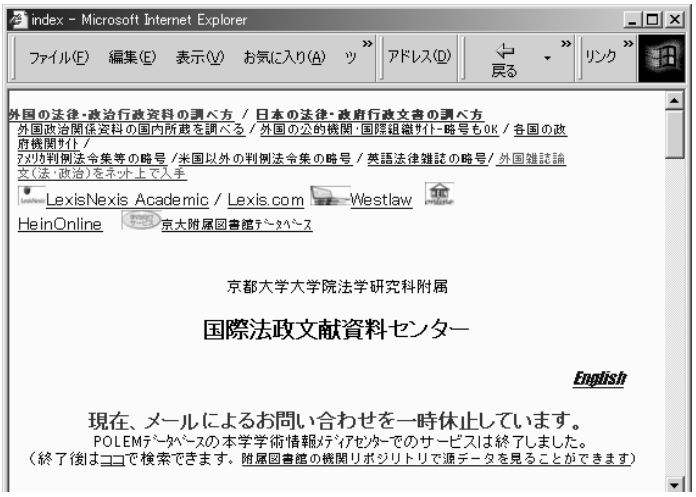
海外

[調べ方をまとめた図書]
①田中英夫[ほか]『外国法の調べ方』東京大学出版会，1974（書庫 322/C/177）
②北村一郎編『アクセスガイド外国法』東京大学出版会，2004（開架 322//721）
③指宿信[ほか]『リーガル・リサーチ』日本評論社，2005（開架 320//580）
④板寺一太郎『外国法文献の調べ方』信山社，2002（開架 320//579）
⑤指宿信[ほか]『インターネット法情報ガイド』日本評論社，2004（開架 320//562）
⑥モーリス L コーエン[ほか]『入門　アメリカ法の調べ方』成文堂,1994（開架 322//503）

[インターネット情報源]　[図書館ホームページ-リンク集-行政情報]
①国立国会図書館　リサーチ・ナビ　http://rnavi.ndl.go.jp/politics/index.php

・「国・地域別資料紹介」では、国会図書館が所蔵する主要な議会資料、法令・判例資料、官庁資料、国際機関資料を紹介している。

②京都大学国際法政文献センター　http://ilpdc.law.kyoto-u.ac.jp/



・外国および日本の法律・政治行政資料の調べ方や文書の入手方法、法律学・政治学関係の外国雑誌論文を検索できるサイトを紹介している。

６．４　各国の情報・国際協力

[参考図書]

書名／著者名	出版者	請求記号
アジア動向年報	アジア経済研究所	302/*/293
最新世界各国要覧／東京書籍編集部	東京書籍	302/*/336
韓国・北朝鮮総覧／環太平洋問題研究所	原書房	302/*/374
中国情報ハンドブック／三菱総合研究所国際動向分析センター	蒼蒼社	302/*/638
中南米諸国便覧／外務省	ラテン・アメリカ協会	302/*/682
L'état de la France	Découverte	302.35/L56/*（2007,08 以前は 302/*/844）
The world factbook	Brassey's	302/*/1164
外交青書／外務省	外務省	319/*/58 外務省 HP より公開
国際協力機構年報／国際協力機構	国際協力機構	333.8/Ko51/*（2007 以前は 333/*/455）
政府開発援助(ODA)白書／外務省	外務省	333.8/Se17/*（2005 以前は 333/*/456）
政府開発援助 ODA 国別データブック／外務省経済協力局	外務省経済協力局	333.8/Se17/*（2006 以前は 333/*/456B）
国際協力便覧／国際協力銀行開発金融研究所	国際協力銀行	333/*/1075 JICA 研究所 HP より公開

[インターネット情報源]

①外務省　www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html

・各国・地域情勢には、各国の地図、基礎データのほか、最近の情勢や日本との関係まで、幅広く掲載している。

[類縁機関]　[図書館ホームページ-リンク集-図書館]

①あいち国際プラザ図書室（愛知県国際交流協会）　http://www2.aia.pref.aichi.jp/

・外国紹介や国際交流関係の和・洋書が閲覧・貸出できる。また、様々な国際交流団体が発行する資料類や、海外の新聞・雑誌、ビデオなどを所蔵している。

②名古屋国際センターライブラリー（名古屋国際センター）　http://www.nic-nagoya.or.jp/

・各国の文化などを紹介する図書や海外のニュースを伝える新聞・雑誌、ビデオライブラリーなどを所蔵している。

参考資料

資料検索やレポート作成に役立つ情報を集めました。

１　引用、文献リストについて

１．１　引用について

・論文においては、自分の意見と他人の見解とをはっきり区別する必要があります。他人の著作物から文章を引用した場合は、引用であることを示し、出典を明示しなくてはなりません。
・引用した箇所に注をつけ、巻末の注記や文献リストと結び付けて出典の書誌的事項（著者名・署名・出版年など）を明らかにします。

１．２　引用の仕方

・著作物には著作権があります。著作権を保護するため、原則として正確に原文どおり引用しなければなりません。
・引用の仕方には次の２通りがあります。
①引用する文章が短い場合　　カギカッコ「　」でかこんで本文に入れる。
②引用する文章が長い場合　　カギカッコ「　」はつけず、アタマを１字か２字下げて書く。

１．３　参照文献の書き方

・参照文献の書き方には一般的に下記の 2 通りがあります。

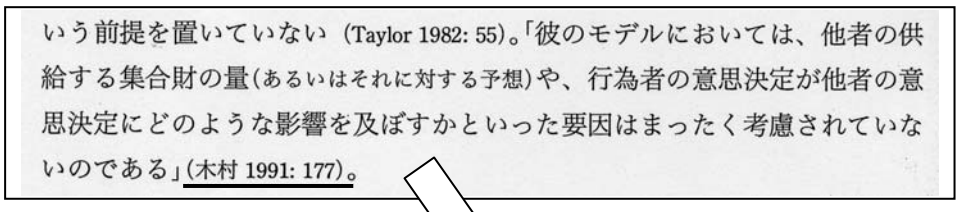
①バンクーバー方式（引用順方式）
本文の参照箇所に引用順に参照文献の連番 (1) (2) (3) を振り、論文最後などに連番順に参照文献を記述します。

出典の示し方

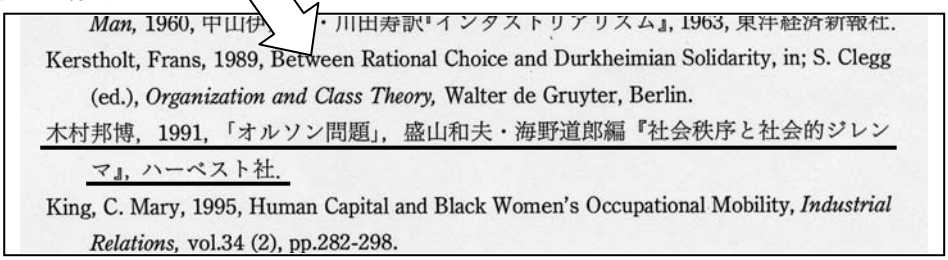
・図書　　著者名『書名』発行所，出版年，該当ページ
・雑誌論文　　著者名「論文名」『雑誌名』巻号（刊行年月），該当ページ
・CD-ROM　著者名「論文・記事名」『CD-ROM のタイトル』巻号，[CD-ROM]，発行所，刊行年月
・インターネット上の情報（例）
　著者名「記事名」[オンライン]，ＨＰの名称，[インターネット]，URL，アクセス日

②ハーバード方式（著者名・発行年方式）
本文での参照箇所にカッコ（　）を挿入し、その中に（出典文献の著者名　出版年：該当ページ）を書き込み、論文最後などに著者名・発行年順に参考文献を記述します。

本文


いう前提を置いていない（Taylor 1982: 55）。「彼のモデルにおいては、他者の供給する集合財の量（あるいはそれに対する予想）や、行為者の意思決定が他者の意思決定にどのような影響を及ぼすかといった要因はまったく考慮されていないのである」（木村 1991: 177）。

巻末の文献リスト


Man, 1960, 中山伊知郎・川田寿訳『インダストリアリズム』, 1963, 東洋経済新報社.
Kerstholt, Frans, 1989, Between Rational Choice and Durkheimian Solidarity, in; S. Clegg (ed.), *Organization and Class Theory*, Walter de Gruyter, Berlin.
木村邦博，1991，「オルソン問題」，盛山和夫・海野道郎編『社会秩序と社会的ジレンマ』，ハーベスト社.
King, C. Mary, 1995, Human Capital and Black Women's Occupational Mobility, *Industrial Relations*, vol.34 (2), pp.282-298.

１．４　欧文文献の場合

・参照文献の記述方法
現在国際的に広く用いられている参照文献の記述方法には、以下のようなものがあります。

・英国のスタイル　The Oxford Style Manual
・米国のスタイル　The Chicago Manual of Style
・学協会のスタイル

(1) NLM (MEDLINE) スタイル（米国国立医学図書館）	生医学分野
(2) ACS スタイル（アメリカ化学会）	化学分野
(3) IEEE スタイル（ 米国電気・電子技術者協会）	工学分野
(4) APA スタイル（アメリカ心理学会）	学際分野
(5) MLA スタイル（米国現代言語協会）	人文・社会科学分野

＊出典の示し方等について、どの方法をとるかは指導教員の指示に従います。
＊詳しくは、次ページの「論文の書き方」の本を参考にしてください。

１．５　欧文の略語

app.	appendix「付録」。
cf	confer「比較せよ」「参照せよ」。文献名の前に書く。
ed.、eds.	editor(s)「編集者」、edition(s)「版」、edited(by)「～によって編集された」のいずれにも用いる。
etc.	et cetra（ラテン語）「その他」。
ex.	example「例」。
f.、ff.	and the following「およびその次の」の意で、p.28f.は２８ページと２９ページを、p28ff.は２８ページ以下の数ページを示す。
fn.	foot note「脚注」。
ibid.	ibidem（ラテン語）「同署」「同前」。直前の「注」と同じ文献であることを示す。もとの意味は「同じ場所に」。
loc.cit.	loco citato（ラテン語）「引用された場所に」。すでに引用された文献の同一箇所からの引用を示す。
n.、nn.	note(s)「注」「注釈」。
n.d.	no date「刊行日付けなし。」
no.、No.	number「番号」。
n.p	no place「刊行地の記載なし」。
op. it.	opera citato（ラテン語）「前掲書」「前掲論文」。原義は「引用された作品のなかに」。
rev.	revised, revision
rpt.	reprinted, reprint「再版」「重版」。
ser.	series「シリーズ」
tr.、trans.	tarnslation「翻訳」、translator「翻訳者」、translated(by)「～によって翻訳された」のいずれの場合にも用いる。
vol.、vols.	volume(s)「巻」「冊」。2vols.は全２巻、Vol.2（または、Vol.Ⅱ）は第２巻ということ。

田代菊雄『大学生のための研究の進め方・まとめ方』新版,
大学教育出版, 1997 (002/A/316)　より

参考文献：
『参考文献の役割と書き方 ： 科学技術情報流通技術基準(SIST)の活用』科学技術振興機構, 2008
http://sist-jst.jp/pdf/SIST_booklet2009.pdf
『SIST02 ： 参照文献の書き方（SIST ： 科学技術情報流通技術基準)』科学技術振興機構, 2007
http://sist-jst.jp/pdf/SIST02-2007.pdf

２　「論文の書き方」、「文献調査」の本

「論文の書き方」の本　　OPAC で件名に「論文作法」と入力して検索してみてください。

002//316　『大学生のための研究の進め方・まとめ方』田代菊雄　新版，大学教育出版，1997
007.6//3312　『超入門パソコンでレポートを書く』前田洋樹，滝川好夫，日本評論社，2004
007.6/N37　『文系のための情報処理入門』中村康夫，安道百合子，和泉書院，2008
007.6/Sh32　『レポート作成のためのコンピュータリテラシー』椎原正次　改訂版　ムイスリ出版，2008
007.63/I72　『レポートから卒論まで Word & Excel 講座』石田千代子　新紀元社，2007
007.63/Se72/11　『論文・レポート作成に使う Word2007 活用法』嶋貫健司　カットシステム，2007
021.2/Mi84　『学術論文のための著作権Ｑ＆Ａ：著作権法に則った「論文作法」』宮田昇　東海大学出版会，2008
041//1051　『知の技法』小林康夫・船曳建夫編　東京大学出版会，1994
080/1718/12　『レポートの作り方：情報収集からプレゼンテーションまで』江下雅之　中央公論新社（中公新書），2003
080/954/23　『論文の教室』戸田山和久　日本放送出版協会，2002
140/1/909　『心理学のためのレポート・卒業論文の書き方』杉本敏夫　サイエンス社，2005
140//935　『卒論・修論をはじめるための心理学理論ガイドブック』夏堀睦　ナカニシヤ出版，2007
210//446　『日本史論文の書きかた』中尾尭他編　吉川弘文館，1992
222//1503　『中国近現代史研究のスタンダード：卒業論文を書く』田中比呂志　研文出版，2005
307/I75　『社会科学系のための英語研究論文の書き方』石井クンツ昌子　ミネルヴァ書房，2010
369/a/2649　『福祉系学生のためのレポート＆卒論の書き方』川村匡由　改訂，中央法規出版，2005
377.15/Sa85　『アカデミック・スキルズ ： 大学生のための知的技法入門』佐藤望編著　慶應義塾大学出版会，2006
490.7/Su87　『論文を書いてみよう！』諏訪邦夫　克誠堂出版，2005
490.7/R98　『医療・福祉・看護系はじめてのレポート・卒論』柳修平　金芳堂，2003
492.907/E12　『看護学生のためのレポート書き方教室』江原勝幸　照林社，2008
492.907/Ma73　『ナースのための実践論文講座』松葉祥一　人文書院，2008
492.907/Ta56　『看護学生のためのレポート・論文の書き方：正しく学ぼう「書く基本」「文章の組み立て」』高谷修　改訂３版，金芳堂，2006
492.907/Ta56　『看護師に役立つレポート・論文の書き方』高谷修　金芳堂，2006

816/c/68　『学術論文の技法』斉藤孝　新訂版，日本エディターズスクール，2005
816//359　『わかりやすい論文レポートの書き方』安藤喜久雄編　実業之日本社，1999
816//360　『卒論・ゼミ論の書き方』早稲田大学出版部編　新版，早稲田大学出版部，1997
816/a/361　『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方』吉田健正　第２版，ナカニシヤ出版，2004
816//364　『論文・レポートのまとめ方』古郡廷治　筑摩書房，1997
816//374　『レポート・論文の書き方入門』河野哲也　第３版，慶応義塾大学出版会，2002
816//375　『レポート・論文の書き方上級』櫻井雅夫　慶応義塾大学出版会，1998

816//390　『Word を使った大学生のための論文作成術』佐良木昌　明石書店，2004
816//396　『インターネット完全活用編大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康　講談社，2003
816//402　『レポート・論文・プレゼンスキルズ』石坂春秋　くろしお出版，2003
816//403　『レポート・卒論のテーマの決め方』三井宏隆　慶応義塾大学出版会，2004

816.5/A58　『これでわかった！レポート作成』青山満　学術図書出版社，2004
816.5/F67　『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』藤田節子　日外アソシエーツ，2009
816.5/Ｉ89　『はじめてのレポート：レポート作成のための 55 のステップ』伊藤義之　嵯峨野書院、2003
816.5/N72　『評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方』新堀聰　同文舘出版，2002

816.5/022　『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康　新版, 講談社（講談社現代新書）, 2009
816.5/Sh81　『よくわかる卒論の書き方』白井利明　ミネルヴァ書房, 2008
836/ｆ/19　『MLA 英語論文の手引』ジバルディ, ジョセフ　第 6 版, 北星堂書店, 2005
836//306　『英語論文に使う表現文例集』迫村純男・James Raeside　ナツメ社, 1996
836//447　『アカデミックライティング入門』磯貝友子　慶応義塾大学出版会, 1998
836//442　『アカデミックライティング応用編』アーマー, アンドルー他　慶應義塾大学出版会, 1999
876//4　『論文作法』エーコ, ウンベルト　而立社, 1997

映像資料　DVD/3/317　『レポート・論文を書こう！：誰にでも書ける 10 のステップ』紀伊國屋書店（情報の達人 3）, 2007

「文献調査」の本　　OPAC で件名に「文献探索」や「図書館利用」、「情報検索」と入力して検索してみてください。

007.5//8　『自分でできる情報探索』藤田節子　筑摩書房（ちくま新書), 1997
007.5//9　『情報スーパー活用術』西村顕治　筑摩書房, 1997
007.5/2007/69　『インターネットで文献探索』伊藤民雄　2007 年版日本図書館協会, 2007
007.5//71　『調査のためのインターネット』アリアドネ編　筑摩書房, 1996
007.5//75　『情報リテラシー入門』慶應義塾大学日吉メディアセンター編　慶應義塾大学出版会 2002
007.5//76　『大学生と「情報の活用」』川崎良孝　増補版, 京都大学図書館情報研究会, 2001
007.5//80　『理・工・医・薬系学生のための学術情報探索マニュアル』学術情報探索マニュアル編集委員会編　丸善、2006
015//44　『文科系学生のための文献調査ガイド』池田祥子　青弓社, 1995
015//225　『図書館に訊け！』井上真琴　筑摩書房（ちくま新書), 2004
015//232　『図書館を使い倒す!』千野信浩　新潮社（新潮新書)、2005
015.2/Mo45　『文献調査法：調査・レポート・論文作成必携：情報リテラシー読本』毛利和弘　第 2 版, 日本図書館協会, 2006
490//599　『上手な情報検索のための PubMed 活用マニュアル』縣俊彦　南江堂、2000
816//399　『レポート作成法：インターネット時代の情報の探し方』井出翕・藤田節子　日外アソシエーツ、2003

３　情報科学関係論文で引用されることの多い雑誌・技術報告の略称

・科学技術系の雑誌は二次情報の検索結果や論文の引用文献・参考文献においての書き方が略誌名で書かれていることが多く、長久手・守山キャンパス図書館や他の図書館の蔵書検索をするときには、完全誌名を知る必要があります。

＊図書館にない資料を申込むときには、略誌名ではなく、完全誌名を書いて申込をしてください。

略称	正式名称
NS 研究会　信学会	電子情報通信学会．．ネットワークシステム研究会の略 論文は「電子情報通信学会技術研究報告．ネットワークシステム」に掲載
映情学誌	映画情報メディア学会誌
情処学ヒューマンインタフェース研報	情報処理学会研究報告．ヒューマンインタフェース（ＨＩ）
情処学論	情報処理学会論文誌
情処技研　ＤＳＭ	情報処理学会研究報告．分散システム・インターネット運用技術（ＤＳＭ）
情処研報　ＤＢＳ	情報処理学会研究報告．データベースシステム（ＤＢＳ）
情報処理学会　ＤＳＭ	情報処理学会研究報告．分散システム・インターネット運用技術（ＤＳＭ）
情報処理学会研究会報告ＤＳＭ	情報処理学会研究報告．分散システム・インターネット運用技術（ＤＳＭ）
情報処理学会データベースシステム研究会	情報処理学会研究報告．データベースシステム（ＤＢＳ）に掲載
情報処理学会分散システム運用技術研究報告	情報処理学会研究報告．分散システム・インターネット運用技術（ＤＳＭ）
情報知識学誌	情報知識学会誌
信学技報	電子情報通信学会技術研究報告
信学総大 信学ソ大	電子情報通信学会．総合大会講演論文集 電子情報通信学会．ソサイエティ大会講演論文集
信学論　Ｃ	電子情報通信学会論文誌．Ｃ
信学論誌 Ｊ－７９－Ｄ－Ⅱ	電子情報通信学会論文誌　ＤⅡ
人口知能学誌	人工知能学会誌
電学論　C	電気学会論文誌　C
電学論誌　C	電気学会論文誌　C
電気学会全大	電気学会全国大会論文集
電子情報通信学会.福祉情報工学研究会	電子情報通信学会技術研究報告．福祉情報工学に掲載

＊「Webcat Plus」では別タイトルに雑誌の略誌名形が入力されていて略誌名でも検索することができますのでここから完全誌名を知ることもできます。

＊「Ingenta」Advanced Search（トップページの“Search”ボタンをクリックして入る）を使って完全誌名を知ることもできます。

参考：国立国会図書館　科学技術・医学　調べ方案内　文献調査のノウハウと資料群

４　日本十進分類法　ＮＤＣ（Nippon Decimal Classification）綱目表

00 総記　General works.
01　図書館. 図書館学 Libraries. Library and information sciences
02　図書. 書誌学 Books. Bibliography
03　百科事典 General encyclopedias
04　一般論文集. 一般講演集 general collected essays
05　逐次刊行物　General serial publications
06　団体 General societies
07　ジャーナリズム. 新聞 Journalism. Newspapers
08　叢書. 全集. 選集 General collections
09　貴重書. 郷土資料. その他の特別コレクション rare books. Local collections. Special collections
10 哲学　Philosophy
11　哲学各論 Special treatises on philosophy
12　東洋思想 Oriental thought
13　西洋哲学 Western philosophy
14　心理学 Psychology
15　倫理学. 道徳 Ethics. Morals
16 宗教 Religion
17　神道 Shinto
18　仏教 Buddhism
19　キリスト教 Christianity
20 歴史　History
21　日本史 general history of Japan
22　アジア史. 東洋史 General history of Asia
23　ヨーロッパ史. 西洋史 General history of Europe
24　アフリカ史 General history of Africa
25　北アメリカ史 General history of North America
26　南アメリカ史 General history of South America
27　オセアニア史. 両極地方史 General history of Oceania. General history of Polar regions
28　伝記 general biography
29　地理. 地誌. 紀行 General geography
30 社会科学　Social sciences
31　政治 Political sciences
32　法律 Law
33　経済 Economics
34　財政 Public finance
35　統計 Statistics
36　社会 Society
37　教育 Education
38　風俗習慣. 民俗学. 民族学 Customs, folklore and ethnology
39　国防. 軍事 National defense. Military science
40 自然科学　Natural Sciences
41　数学 Mathematics
42　物理学 Physics
43　化学 Chemistry
44　天文学. 宇宙科学 Astronomy. Space science
45　地球科学. 地学 Earth sciences
46　生物科学. 一般生物学 Biology
47　植物学 Botany
48　動物学 Zoology
49 医学. 薬学 Medical sciences

50 技術. 工学 Technology. Engineering
51 建設工学. 土木工学 Construction. Civil engineering
52 建築学 Architecture. Building
53 機械工学. 原子力工学 Mechanical engineering
54 電気工学. 電子工学 Electrical engineering
55 海洋工学. 船舶工学. 兵器 Maritime engineering
56 金属工学. 鉱山工学 Metal and mining engineering
57 科学工業 Chemical technology
58 製造工業 Manufactures
59 家政学. 生活科学 Domestic arts and sciences

60 産業 Industry
61 農業 Agriculture
62 園芸 Horticulture
63 蚕糸業 Sericulture. Silk industry
64 畜産業. 獣医学 Animal husbandry
65 林業 Forestry
66 水産業 Fishing industry. Fisheries
67 商業 Commerce
68 運輸. 交通 Transportation services
69 通信事業 Communication services
70 芸術. 美術 The arts
71 彫刻 Sculpture. Plastic arts
72 絵画. 書道 Painting. Pictorial arts
73 版画 Engraving
74 写真. 印刷 Photography and photographs
75 工芸 industrial arts
76 音楽. 舞踊 Music
77 演劇. 映画 Theater
78 スポーツ. 体育 Sports and physical training
79 諸芸. 娯楽 Accomplishments and amusements
80 言語 Language
81 日本語 Nipponese
82 中国語. その他の東洋の言語 Chinese
83 英語 English
84 ドイツ語 German
85 フランス語 French
86 スペイン語 Spanish
87 イタリア語 Italian
88 ロシア語 Russian
89 その他の諸言語 Other languages
90 文学 Literature
91 日本文学 Nipponese literature
92 中国文学. その他の東洋文学 Chinese literature
93 英米文学 English and American literature
94 ドイツ文学 German literature
95 フランス文学 French literature
96 スペイン文学 Spanish literature
97 イタリア文学 Italian literature
98 ロシア・ソヴィエト文学 Russian literature
99 その他の諸文学 literature of other languages